

カセットチューナー/カセットレコーダー

X905/R705

取扱説明書

お買い求めいただいた皆さまへありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をお読みください。正しくお使いください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用するものではありません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



ALL



PC



TAPE



TUNER



Option

Option



Option



Option

Sound Crucising

機能紹介

page



あの曲が聴きたいな…

DPSS

ダイレクト プログラム サーチ システム
(頭出し)



TAPE

24

飛ばす曲数を指定して、聴きたい曲まで一気にジャンプできます。

"この曲は飛ばしたい"
"あの曲を聴きたい"
なんてとき、カンタンに頭出しができます。



ブランクスキップ



TAPE

28

テープに録音されていない部分が10秒以上あると、次の曲まで自動的に早送りします。

曲の間に長い無録音部分があるテープや、最後の方に何も録音されていないカセットテープを聴くときに便利です。

27



インデックススキャンプレイ

テープに録音されている曲のイントロ部分を、次々にテーププレイ。

"このテープに入っている曲を知りたい"、"何曲目に入っているかわからない"といったときに便利です。

26



リピートプレイ

気に入った曲を何度も繰り返して聴くことができます。

私にも操作させて



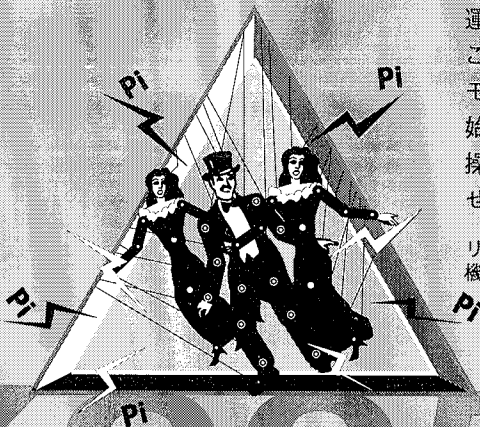
11



ワイヤレスリモコン

運転中の操作は大変です。こんなとき、ワイヤレスリモコンは操作が簡単なので、始めての人でも楽々操作。操作は助手席の彼女にまかせれば安心です。

リモコンには、本体ではできない機能もついています。



X905



なぜ、渋滞して
いるのかな？

トラフィック インフォメーション



41

テープやCDなどを聴いているときも、ワンタッチで交通情報局にチューニングします。

チューナーモードに切り替える必要はありません。

交通情報局：522kHz、1620kHz、
1629kHz



オートチューニング



31

放送局を探すのは大変です。そこでオートチューニング！
オートチューニング1は、放送局を探し、見つけると自動的に受信を始めます。

オートチューニング2は、メモリーしておいた放送局をワンキー操作で次々と受信します。

35

ダイレクトチューニング



聴きたい放送局の周波数が分かっているならダイレクトチューニングが便利。周波数のナンバーキーを押せばダイレクトに受信できます。

705

Sound Cruising

どんな放送を
しているの？

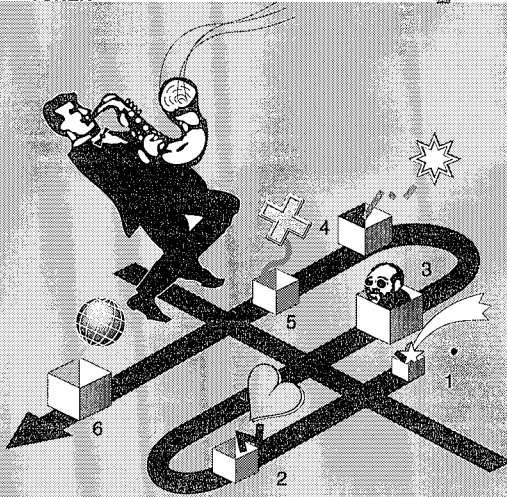


39



TUNER

オートメモリー



FMまたはAMの放送局を、
最大6局まで自動的に探し
てメモリーします。
旅先などで、どんな放送局
があるのかわからないとき
に、この機能を使ってメモ
リーすれば、どんな放送局
があるかすぐ分かります。

43



TUNER

ステーションネームプリセット

FM, AM 合わせて30局の周波数に名前を付けることができます。
つまり、よく聴く放送局の名前をプリセットしておけば、周波
数表示の代わりに放送局の名前が表示されるわけ。メジャーな
放送局じゃなくても、ローカル放送局のステーションネームだ
って表示可能！

X905

OPTION機能紹介

CDライブラリーが
作りたい



10連奏CDも楽しめる

CDオートチェンジャー コントロール機能



page

47

別売品のCDオートチェンジャー"CD705"を接続するとCDオートチェンジプレイコントロールができます。CDオートチェンジャーは2台まで接続・コントロールできるので、最高20枚のCDの演奏を次々楽しめます。



ダイレクト トラック ディスク サーチ

聴きたいトラックまたはCDまで一気にジャンプできます。

51

トラック マガジン ランダムプレイ

演奏中のCDまたはCDマガジンに入っている曲がランダムに選ばれ演奏されます。

56,57

トラック ディスク スキャンプレイ

演奏中のCDまたはCDマガジンに入っている曲のイントロ部分を次々と演奏します。"このCDに入っている曲を知りたい"を"このCDマガジンに入っているCDを知りたい"といったときに便利です。

トラック ディスク リピートプレイ

気に入った曲やCDを繰り返し聴くことができます。

52,53

54,55

ディスク名前プリセット

CDオートチェンジャー1台につき100枚までのCDに名前をつけることができます。ディスク名前プリセットしたCDを演奏すると、自動的につけられた名前が表示されます。

63

メモリープレイ

CDと曲の番号をメモリーすると、聴きたい曲を聴きたくない順に演奏できます。

61

page

67



突然のCDもOK! CDプレイヤー コントロール機能

CD持ってきたの



別売品のCD/DSPプレーヤー
・"D705"を接続するとCDプレイ
コントロールが楽しめます。

71

ダイレクトトラックサーチ

聴きたいトラックまで一気にジャンプできます。

72

トラックリピートプレイ

気に入った曲を繰り返し聴く
ことができます。

73

ランダムプレイ

演奏中のCDに入っている曲がラ
ンダムに選ばれ演奏されます。

74

トラックスキャンプレイ

演奏中のCDに入っている曲のイント
ロ部分を次々と演奏します。"この
CDに入っている曲を知りたい"とか"
何曲目に入っているかわからない"と
いったときに便利です。

テレビが見たい!

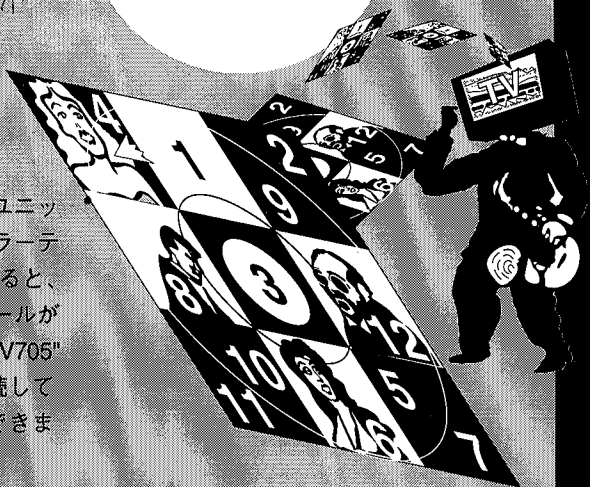
TVやビデオを楽しむ

TVチューナーユニット コントロール機能



77

別売品のTVチューナーユニット"KTC-V705"と液晶カラーテレビ"LCD-100"を接続すると、TVチューナーコントロールができます。また、"KTC-V705"にはビデオデッキを接続してビデオを楽しむこともできます。



チャンネルメモリー

チャンネルメモリースイッチに記憶されているチャンネルを変えられます。

80

ダイレクトチューニング

受信したいTV局のチャンネルを入力してダイレクトに受信できます。

83

マニュアルチューニング

受信チャンネルを1チャンネルずつ変えられます。
オートチューニングができない弱い放送局の受信などに使います。

82

オートチューニング

受信状態の良いTV局を自動的に見つけて受信します。

81

ベストのサウンドを楽しむ

DSPユニット コントロール機能

もっと雰囲気が出ないかしら



別売品のDSPユニット
"P705"またはCD/DSPプ
レーヤー"D705"を接続す
るとDSPコントロールが
でき、臨場感豊かな音場
空間を楽しむことができ
ます。

ホールシミュレーション

残響レベル・遅延時間をコント
ロールして、疑似的にコンサートホール
などの音響効果を作り出します。

デジタルイコライザー

デジタル処理により音の劣化を極
力防ぎ、理想的なイコライザーコ
ントロールができます。

ポジションコントロール

聴く人のいる場所に合わせて、
DSP効果が最大限発揮できるよ
うに調整できます。

DSPメモリー

ホールシミュレーション/デジタ
ルイコライザー/ポジションコン
トロールの組合せをメモリー
することができます。メモリーし
ておくことで、DSP効果がワンタ
ンで呼び出せます。

ディスプレイコントロール

ディスプレイまたはD705のディス
プレイをイコライザーコントロール
メニューなど10項目の中から
呼び出します。

X905

Sound Crushing CONTENTS



ALL MODE

X905/705 を使う	パワー・ボリューム	3
モードは5種類	モードチェンジ	5
メリハリのあるサウンドに	ラウドネス	6
音質を変える	オーディオコントロール	7
時計表示もできる	ディスプレイ表示切り替え	9
時計の合わせかた	時計調整	10



離れた場所から

REMOTE CONTROL 11



TAPE MODE

テープを楽しむ	テーププレイ	19
フレーズ探しに	早送りと巻戻し	21
ドルビーB/CNR テープを聴く	ドルビーB/CNR	23
飛び越し一発頭出し選曲	DPSS	24
曲のナンバーで頭出し	ナンバーキーDPSS	25
同じ曲を何回も	リピートプレイ	26
つぎつぎ イントロ	インデックス スキャンプレイ	27
無音部分はとばす	ブランクスキップ	28



TUNER

TUNER MODE

チューナーにおまかせ	オートチューニング	31
微調整には	マニュアルチューニング	33
聴きたい周波数をダイレクトに	ダイレクトチューニング	35
雑音を少なく	モノラル受信	37
聴きたい局だけメモリーする	チューナーメモリー	38
自動的に放送局をメモリーする	オートメモリー	39
交通情報を聴く	トラフィックインフォメーション	41
放送局を名前で表示	ステーションネームプリセット	43



CD-CH

CD auto changer MODE Option

CDを楽しむ	CDプレイ	47
フレーズ探しに	早送りと早戻し	48
飛び越し選曲	トラックサーチ	49
ディスク選びに	ディスクサーチ	50
聴きたい曲をダイレクトに	ダイレクトトラック/ディスクサーチ	51
同じ曲を何回も	トラックリピートプレイ	52
同じCDを何回も	ディスクリピートプレイ	53
イントロ聴いて曲さがし	トラックスキャンプレイ	54
聴きたい曲はどのディスク	ディスクスキャンプレイ	55
おまかせ演奏	ランダムプレイ	56
CD選びもおまかせ	マガジンランダムプレイ	57
聴きたい曲だけピックアップ	メモリープレイセット	59
ピックアップした曲を聴く	メモリープレイ	61
CDに名前を付ける	ディスクネームプリセット	63



CD

CD MODE Option

CDを楽しむ	CDプレイ	67
フレーズ探しに	早送りと早戻し	69
飛び越し選曲	トラックサーチ	70
聴きたい曲をダイレクトに	ダイレクトトラックサーチ	71
同じ曲を何回も	トラックリピートプレイ	72
イントロ聴いて曲さがし	トラックスキャンプレイ	73
おまかせ演奏	ランダムプレイ	74

CONTENTS



TV

TV MODE

Option

ビジュアルを楽しむ	テレビ・ビデオの見かた	77
二か国語放送も大丈夫!	音声の切り替え	79
見たいチャンネルだけメモリーする	チャンネルメモリー	80
オート・マニュアルどちらでも	チューニング	81
見たいTV局をダイレクトに	ダイレクトチューニング	83



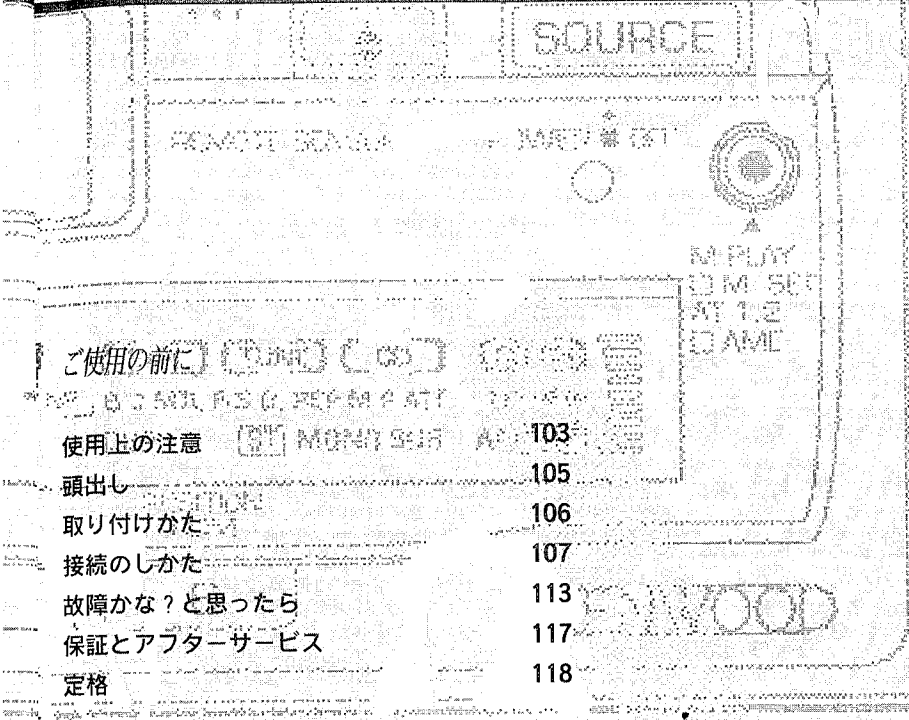
DSP

DSP MODE

Option

DSPを楽しむ	DSPコントロール	87
ホール効果を楽しむ	ホールシミュレーション	88
音楽に合わせたサウンドに	デジタルイコライザー	89
聴く位置にあわせて	ポジションコントロール	91
ビジュアルで楽しむ	ディスプレイコントロール	93
違いがわかる	デモンストレーション	95
オリジナルの音楽空間を作る	ホールシミュレーション調整	96
聴く位置にあわせて調整する	ポジションコントロール調整	97
オリジナルの音楽空間をメモリーする	DSPメモリー	99
デジタルイコライザーの効果を調整	イコライザーエフェクト	101
重低音を効かす	サブウーファーコントロール (X905だけの機能)	102

Sound



ご使用の前に	103
使用上の注意	103
頭出し	105
取り付けかた	106
接続のしかた	107
故障かな?と思ったら	113
保証とアフターサービス	117
定格	118



スイッチの押しかたについて

- 押し → スイッチを押し、すぐに指を離します。
- 1秒以上押し → スイッチを1秒以上押し続けます。
- 2秒以上押し → スイッチを2秒以上押し続けます。

本機は操作の確認が容易になるように、各機能を使ったり解除したときは1秒間モード表示をします。本書に“～と表示され”と書かれているときは、1秒間モード表示をしたあと、もとの表示に戻ります。

ドルビーノイズリダクションはドルビーラポラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー、DOLBY及びダブルD記号はドルビーラポラトリーズライセンスコーポレーションの登録商標です。

ALL MODE

ALL MODE 共通機能



オーディオ

AUDIO スイッチ

押すたびに、

DSP使用時は

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ▼ バス (低音) ▼ ミッドバス (中低音)
(X905のみ) ▼ トレブル (高音) ▼ バランス ▼ フェダー ▼ 音量 | <ul style="list-style-type: none"> ▼ バランス ▼ フェダー ▼ サブウーファー
(X905のみ) ▼ 音量 |
|--|--|

の順に切り替わります。

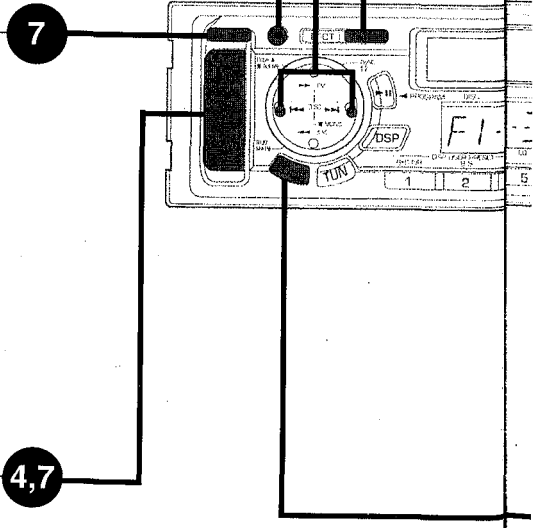
オーディオコントロール

AUDIO CONT スイッチ

音量、バス (低音)、ミッドバス (中低音、X905のみ)、トレブル (高音)、バランス、フェダーを調整します。

▼スイッチは、音が小さく (または弱く) なります。

▲スイッチは、音が大きく (または強く) なります。





ディスプレイ

9 DISP スイッチ

時計表示と通常の表示を切り替えます。

10 ◀◀スイッチ/▶▶スイッチ

TIスイッチを押している間、時刻を合わせることができます。

トラフィックインフォメーション

10 TI スイッチ

押している間、◀◀/▶▶スイッチで時刻を合わせることができます。

ソース/パワー

5 SOURCE/POWER スイッチ

電源のONとモード切り替えをします。押すたびに、

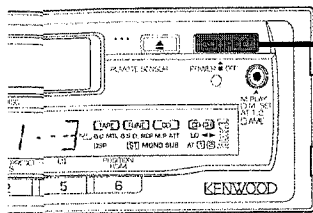
- ▼ TUNER MODE
- ▼ TAPE MODE
- ▼ CD MODE
- ▼ CD-auto changer MODE
- ▼ TV MODE

の順にモードが切り替わります。
1秒以上押すと、電源OFFになります。

ラウドネス

6 LOUD スイッチ

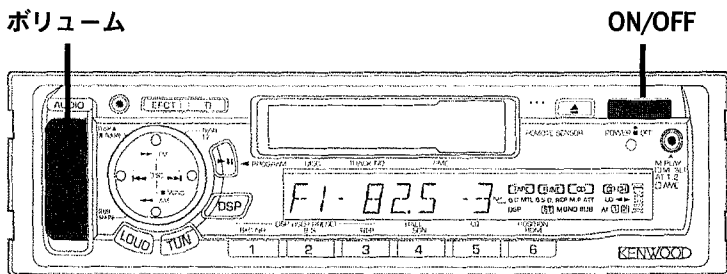
ラウドネスをON/OFFできます。





パワー・ボリューム

電源のON/OFFと音量調整



操作

●電源をONにする

SOURCE/POWER スイッチを押す

電源がONになります。

- (メモ) ● 前に電源をOFFにしたときのモードになります。
- カセットテープを挿入しても電源をONにできます。
- X905では初めて電源をONにしたときは、サブウーファー出力がされます。サブウーファー出力はD705またはP705を接続しているときにON/OFFできます。(⇨P.102)

●電源をOFFにする

SOURCE/POWER スイッチを1秒以上押す

電源がOFFになります。





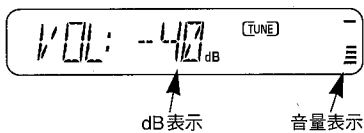
操作

● 音量を小さくする

▼スイッチを押す

音量が小さくなります。

音量を音量表示とdB表示で表示します。

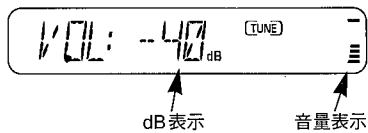


● 音量を大きくする

▲スイッチを押す

音量が大きくなります。

音量を音量表示とdB表示で表示します。

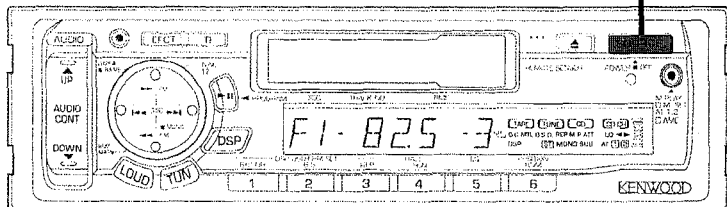




モードチェンジ

モードを切り替える

モード切り替え



操作

モードを切り替える

SOURCE/POWERスイッチを押す

スイッチを押すたびに、次のようにモードが切り替わります。

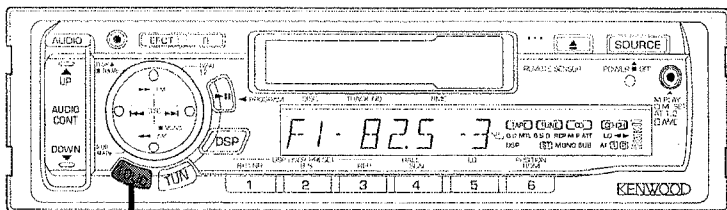
- ▼ TUNER MODE.....FM、AM 放送を聴くモードです。
(ALL STAND BY MODE.....チューナー機能が停止しているときのモードです。)
- ▼ TAPE MODE.....カセットテープを演奏するモードです。
- ▼ CD MODE.....D705でCDを演奏するモードです。
- ▼ CD auto changer MODE.....C705でCDを演奏するモードです。
- ▼ TV MODE.....KTC-V705でTV、ビデオを見るモードです。

- ⓧモ • 使用できないモードは飛ばされます。
- CDオートチェンジャーを2台接続しているときのCD auto changer MODEは、CD auto changer 1 MODEとCD auto changer 2 MODEに分れます。
- TUNER MODE中にTUNスイッチを押すと、電源ONのまま各機能を停止できる“ALL STAND BY MODE”にできます。ALL STAND BY MODEではチューナー機能が停止し、SOURCE/POWERスイッチでTUNER MODEにしたときは、TUNER MODEの代わりにALL STAND BY MODEになります。



ラウドネス

小音量時にメリハリのある音質にする



ラウドネス

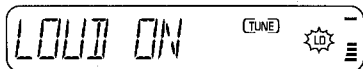
操作

ラウドネスをONにする

LOUDスイッチを押す

LOUD ONと表示され、ラウドネスがONになります。

LDインジケータが点灯し、低音・高音が強調された音になります。

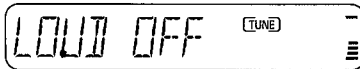


解除

LOUDスイッチを押す

LOUD OFFと表示され、ラウドネスがOFFになります。

LDインジケータが消え、元の音質に戻ります。



メモ 初期状態はラウドネスコントロールがONになっています。

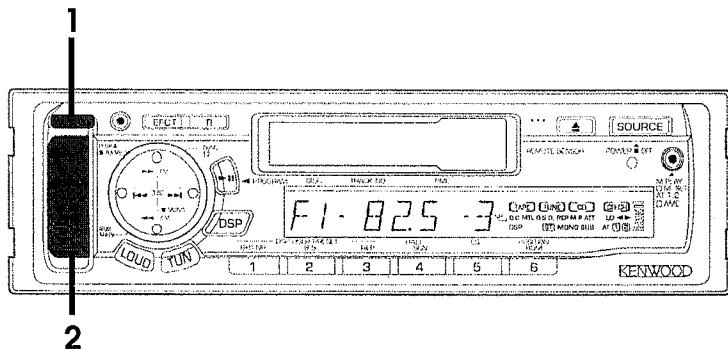


o
L
L



オーディオコントロール

音楽に合わせた音質にする



操作

1 コントロールのモードを切り替える

AUDIOスイッチを押す

スイッチを押すごとに、バス(低音)⇒ミッドバス(中低音:X905のみ)⇒トレブル(高音)⇒バランス⇒フェダー⇒音量⇒バス…の順に切り替わり、調整ができるようになります。

D705/P705 (DSP) を接続時

スイッチを押すごとに、バランス⇒フェダー⇒サブウーファー(X905のサブウーファーシステムON時のみ)⇒音量⇒バランス…の順に切り替わり、調整ができるようになります。

メモ 通常は音量調整状態になっています。

ソースストーンメモリー

バス/ミッドバス/トレブルは、各モード(TAPE, CD auto changer, TUNER, TV)別に設定できます。例えば、テープモードで設定したバス/ミッドバス/トレブルはテープモードのときに呼び出され、ほかのモードではちがう設定が自動的に呼び出されます。

2 各モードの調整をする

AUDIO CONTスイッチの▼スイッチまたは▲スイッチを押す

8ページの表を参照してください。

解除

AUDIOスイッチを1秒以上押す
音量調整状態に戻ります。また、5秒間各スイッチの操作をやめると自動的に解除されます。



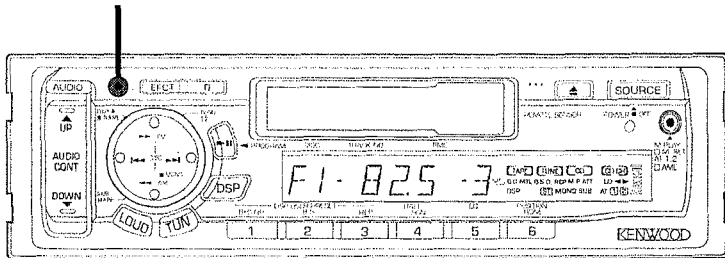
ディスプレイ ウィンドウ	AUDIO CONTスイッチの操作	
	▼スイッチを押す	▲スイッチを押す
バス(低音)調整状態 	低音が減衰されます。	低音が増強されます。
ミッドバス(中低音)調整状態(X905のみ) 	中低音が減衰されます。	中低音が増強されます。
トレブル(高音)調整状態 	高音が減衰されます。	高音が増強されます。
バランス調整状態 	左側の音が強調されます。	右側の音が強調されます。
フェーダー調整状態 	リア側の音が強調されます。	フロント側の音が強調されます。
サブウーファー調整状態(X905のみ) 	サブウーファー音が小さくなります。	サブウーファー音が大きくなります。



ディスプレイ表示切り替え

各モード表示を時計表示に切り替える

表示切り替え

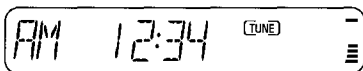


操作

表示を切り替える

DISPスイッチを押す

スイッチを押すごとに、各モードの表示と時計表示とに切り替わります。



時計表示状態

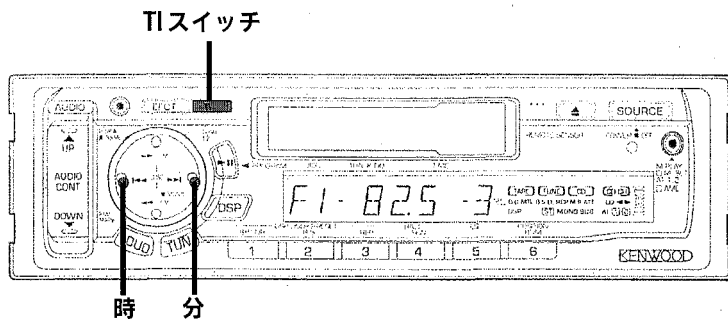
メモ ステーションネームプリセットをしていない放送局を受信中に放送局名表示にしたり、ディスクネームプリセットしていないCDを聴いているときにディスク名表示にすると、それぞれNO NAME, NO FILEと表示されます。

モード	表示切り替え
チューナー	受信周波数⇒放送局名⇒時計⇒
テープ	テープカウンター ⇄ 時計
CDプレーヤー	P-TIME (トラック演奏時間)⇒A-TIME (CDトータル演奏時間)⇒R-TIME (CD残り時間)⇒時計⇒
CDオートチェンジャー	P-TIME (トラック演奏時間)⇒A-TIME (CDトータル演奏時間)⇒R-TIME (CD残り時間)⇒CD名⇒時計⇒
TV	チャンネル表示 ⇄ 時計
オールスタンバイ	KENWOOD ⇄ 時計



時計調整

時刻を合わせる

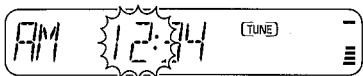


操作

「時」を合わせる

TIスイッチを押しながら、◀◀スイッチを押す

表示される時刻の「時」の部分で現在の時刻に合わせます。



操作

「分」を合わせる

TIスイッチを押しながら、▶▶スイッチを押す

表示される時刻の「分」の部分で現在の時刻に合わせます。



メモ 時計調整は、時計表示中に行ってください。



し
名
り
と
れ
れ



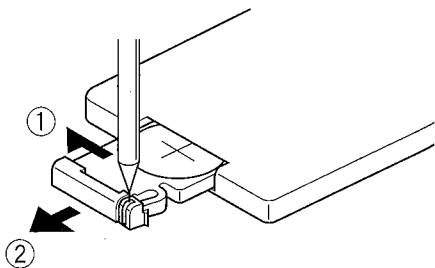
REMOTE CONTROL

電池の入れかた/交換

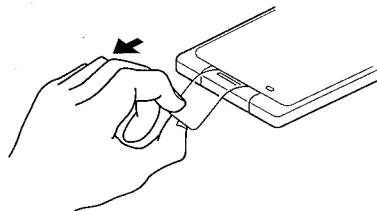
リモコンはリチウム電池 (CR2025) を 1 個使用します。

電池の⊕と⊖は電池ボックス内の表示にしたがって正しく入れてください。

電池の寿命は約 6 ヶ月です。使用期間が 6 ヶ月を経過した場合、新しい電池と交換してください。



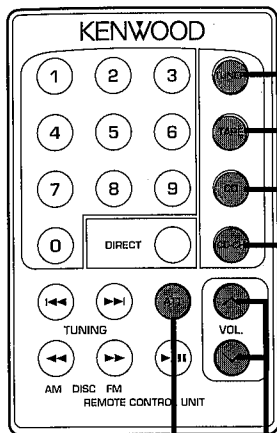
はじめてリモコンを使うときは電池ボックス内にあるテープを取り外してください。





ALL MODE

—ALL MODE 共通機能—



チューナー TUNER スイッチ

押すたびにTUNER MODE、TV MODEとALL STAND BY MODEに切り替わります。

テープ TAPE スイッチ

TAPE MODEになります。

CD スイッチ

CD MODEになります。

CD-CH スイッチ

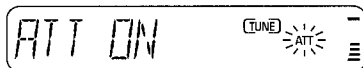
CD auto changer MODEになります。
CDオートチェンジャーを2台接続しているときは、CD-auto changer 1 MODEとCD auto changer 2 MODEとの切り替えができます。

ボリューム VOL スイッチ

ハスイッチは、音量が大きくなります。
Vスイッチは、音量が小さくなります。

アッテネーター ATT スイッチ

押すとATT ONと表示され、音量がすばやく小さくなります。



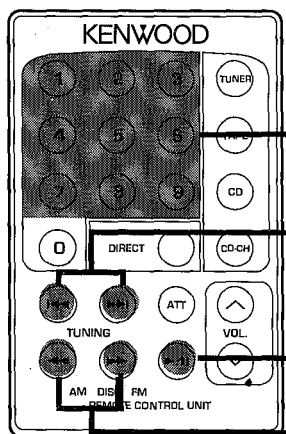
解除するには2つの方法があります。

- もう一度このスイッチを押す（ATT OFFと表示されます）。
- 音量を最小にする。





TAPE MODE



ナンバーキー

ナンバーキーDPSS時に、飛び越し曲数を入力する。

DPSSスイッチ

◀◀ スイッチは、手前の曲へDPSSします。

▶▶ スイッチは、先の曲へDPSSします。

▶/◀ スイッチ

押すと、反対面のテーププレイが始まります。巻戻し、早送り中に押すと、テーププレイに戻ります。

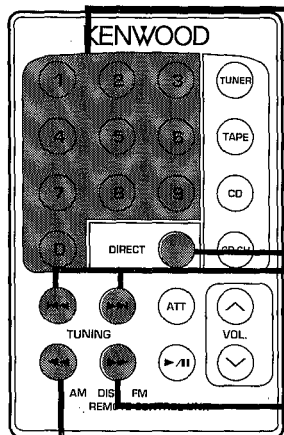
早送り/巻戻しスイッチ

◀◀ スイッチは、巻戻しが始まります。

▶▶ スイッチは、早送りが始まります。



TUNER MODE



ナンバーキー

1～6はメモリーした放送局を呼び出します。ダイレクトチューニング時は、周波数の入力を行います。

DIRECTスイッチ

ダイレクトチューニングモードになります。

チューニングスイッチ

◀◀ スイッチは、受信周波数が下がります。

▶▶ スイッチは、受信周波数が上がります。

FMスイッチ

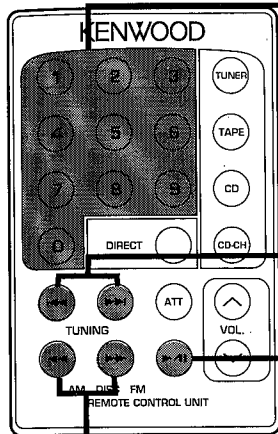
FM1バンドとFM2バンドとに切り替わります。

AMスイッチ

AM1バンドとAM2バンドとに切り替わります。



CD auto changer MODE



ナンバーキー

ダイレクトトラック/ディスクサーチ時に、演奏したいトラックまたはCD No. の入力をします。

トラックサーチスイッチ

◀◀ スイッチは、手前の曲へトラックサーチします。

▶▶ スイッチは、先の曲へトラックサーチします。

▶/|| スイッチ

CD演奏のプレイ/ポーズができます。

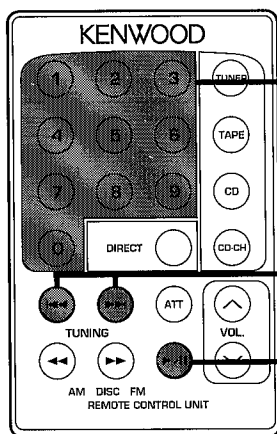
DISC チェンジスイッチ

◀◀ スイッチは、手前のディスクを演奏します。

▶▶ スイッチは、次のディスクを演奏します。



CD MODE



ナンバーキー

ダイレクトサーチ時に、演奏したいトラック No の入力をします。

トラックサーチスイッチ

◀◀ スイッチは、手前の曲へトラックサーチします。

▶▶ スイッチは、先の曲へトラックサーチします。

▶/|| スイッチ

CD演奏のプレイ/ポーズができます。

入

—

0.1

—

まの

—

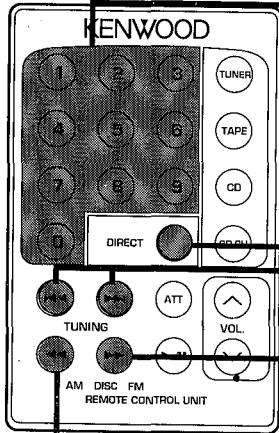
—

0.

。



TV MODE



ナンバーキー

1~6はメモリーしたチャンネルを呼び出します。ダイレクトチューニング時は、周波数の入力をします。

DIRECT スイッチ

ダイレクトチューニングモードになります。

チューニングスイッチ

◀スイッチは、受信チャンネルが下がります。
▶スイッチは、受信チャンネルが上がります。

テレビ/ビデオスイッチ

▼
TV1
▼
TV2
▼
ビデオ

に切り替わります。

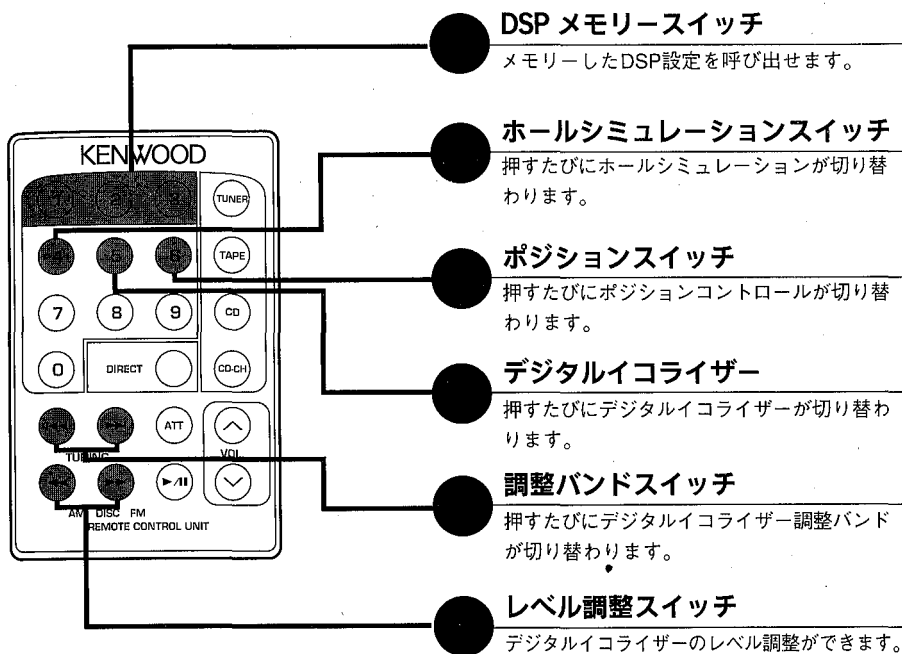
音声切り替えスイッチ

テレビのメイン/サブの音声切り替わります。



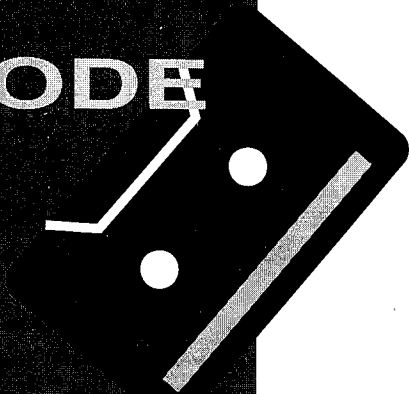
DSP MODE

DSPコントロールモード(→P.87)中に次のような操作ができます。



TAPE

MODE



◀◀スイッチ/▶▶スイッチ

◀◀スイッチは、カセットテープを巻戻します。

▶▶スイッチは、カセットテープを早送ります。

ドルビーB/C NR スイッチ

ドルビーB/C NRシステムのON/OFFができます。

フランクスキップ

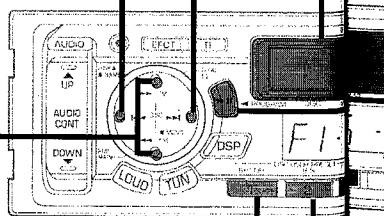
B.S スイッチ

フランクスキップのON/OFFができます。

リピート

REP スイッチ

リピートプレイのON/OFFができます。



21

23

28

26



24 ◀◀/▶▶ スイッチ

- ◀◀ スイッチは、手前の曲へDPSSします。
- ▶▶ スイッチは、先の曲へDPSSします。

19 カセットテープ挿入口

- テープの見える面を右側にして挿入するとテーププレイが始まります。

20 ▲ スイッチ

- カセットテープが出てきます。

19 ソース/POWER スイッチ

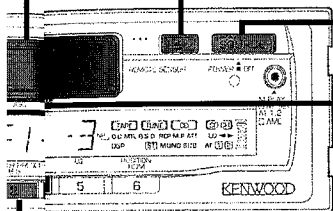
- 押すたびに、モードが切り替わります。
- 1秒以上押すと、電源OFFになります。

20 プログラム PROGRAM スイッチ

- カセットテープの反対側の面を演奏します。
- 早送り・巻戻し中に押すと、テーププレイに戻ります。

27 スキャン SCN スイッチ

- インデックススキャンプレイが始まります。

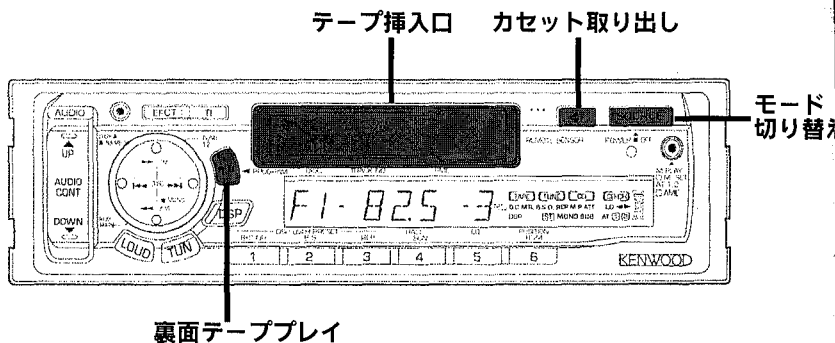




TAPE

テーププレイ

テープを演奏する



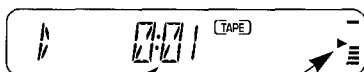
操作

●カセットテープが入っていないとき

テープの見える面を右側にして、カセットテープを挿入口に入れる

TAPE表示がされて、テープの演奏が始まります。

[TAPE]インジケータが点灯してテープカウンター表示がされます。



テープカウンター表示 プログラムインジケータ表示

プログラムインジケータが再生中の面を表示します。

A面を上にして入れたとき、以下のようになります。

再生面	A面	B面
再生中		
再生停止時		

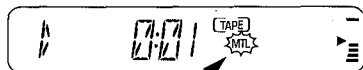
●カセットテープが入っているとき

SOURCE/POWERスイッチを押す

TAPE表示がされるとテープモードになり、テープの演奏が始まります。[TAPE]インジケータが点灯してテープカウンター表示がされます。プログラムインジケータが再生中の面を表示します。

ⓧメモ ●オートテープセレクター

メタル/クロームテープを入れると、自動的にメタル/クロームポジションにセットされます。このとき、MTLインジケータが点灯します。



MTLインジケータ

●テープ残量カウンター

X905はテーププレイが始まるとカセットドアにテープ残量とテープ再生方向の表示をします。



操作

裏面を聴く

PROGRAM スイッチを押す

FW または *REV* と表示され、裏面のテーププレイが始まります。プログラムインジケータの表示が反転します。



メモ

テープカウンター

テープカウンターはカセットを取り出したときと、裏面の演奏になったとき"0:00"になります。

操作

カセットテープを取り出す

▲スイッチを押す

カセットテープが出てきます。

メモ

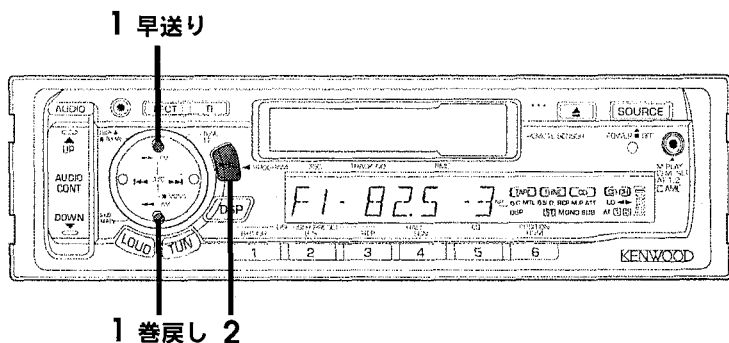
チューナー・CDを演奏しているときや電源 OFF 中でも、カセットテープを取り出すことができます。



TAPE

早送りと巻戻し

テープの早送りと巻戻し



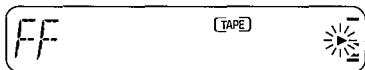
操作

1

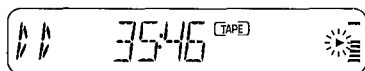
●早送りする

▶▶ スイッチを押す

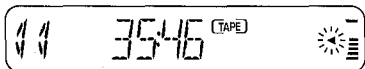
FFと表示され、早送りが始まります。プログラムインジケーターが早送り中の面を表示します。



A面を上にして入れたとき、以下のようになります



再生面 A面

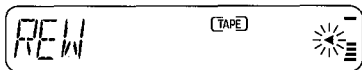


再生面 B面

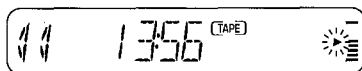
●巻戻しする

◀◀ スイッチを押す

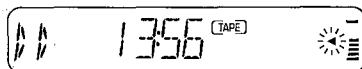
REWと表示され、巻戻しが始まります。プログラムインジケーターが巻戻し中の面を表示します。



A面を上にして入れたとき、以下のようになります



再生面 A面



再生面 B面

メモ オートチューナーコール

チューナー機能がONのとき、早送り、巻戻し中は自動的にラジオを聴くことができます。



2 テーププレイに戻す

PROGRAMスイッチを押す

早送り、巻戻しが止まり、テーププレイになります。

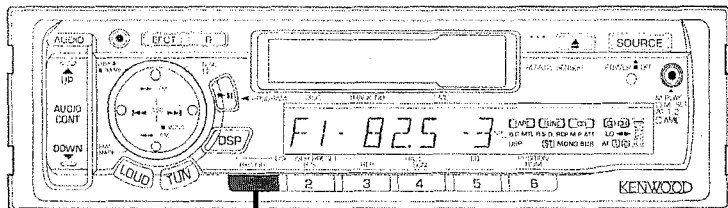




TAPE

ドルビー B/C NR

ドルビー B/C NRを使って録音されたテープを聴く



ドルビー-B/C NR

操作

ドルビー-B NRをONにする

ドルビー-B/C NRスイッチを1回押す

ドルビー-C NRがONのときは2回押します。

B NRと表示されて、ドルビー-B NRシステムがONになります。

ドルビー-B NRインジケーターが点灯します。



ドルビー-B NR ON

操作

ドルビー-C NRをONにする

ドルビー-B/C NRスイッチを2回押す

ドルビー-B NRがONのときは1回押します。

C NRと表示されて、ドルビー-C NRシステムがONになります。

ドルビー-C NRインジケーターが点灯します。



ドルビー-C NR ON

解除

ドルビー-B/C NRスイッチを2回押す

NR OFFと表示されて、ドルビー-B NRシステムがOFFになります。

ドルビー-B NRインジケーターが消えます。

解除

ドルビー-B/C NRスイッチを1回押す

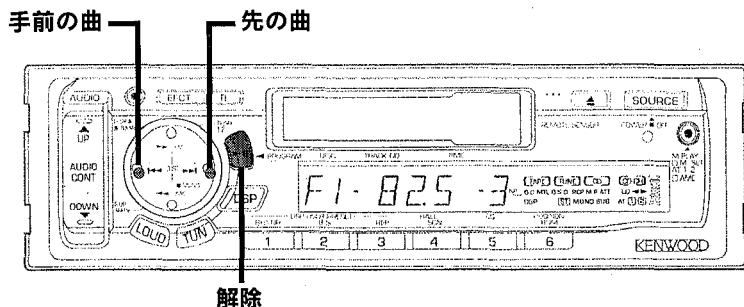
NR OFFと表示されて、ドルビー-C NRシステムがOFFになります。

ドルビー-C NRインジケーターが消えます。



DPSS

飛び越し選曲をする



操作

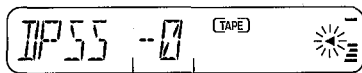
●手前の曲の頭出しをする

◀◀スイッチを押す

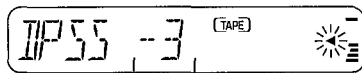
DPSSと表示され、飛び越す曲数が表示されます。

スイッチを押して飛び越したい曲の数に表示を合わせます。

最高9曲までの頭出しができます。セットした曲の先頭まで巻戻しされ、自動的にテープの演奏が始まります。



1回押し(今の曲の頭へ)



4回押し(3曲手前へ)

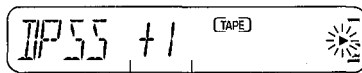
●先の曲の頭出しをする

▶▶スイッチを押す

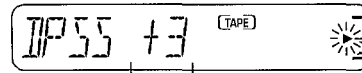
DPSSと表示され、飛び越す曲数が表示されます。

スイッチを押して飛び越したい曲の数に表示を合わせます。

最高9曲までの頭出しができます。セットした曲の先頭まで早送りされ、自動的にテープの演奏が始まります。



1回押し(次の曲へ)



3回押し(3曲先へ)

メモ 曲が始まって3秒間は、1つ前の曲が「今の曲」(「0」曲目)に数えられます。

解除

途中で解除するときにはPROGRAMスイッチを押す

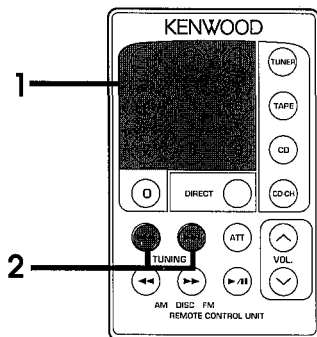
DPSSが解除されて、テーププレイになります。



TAPE

ナンバーキーDPSS

リモコンで飛び越し選曲をする



操作

1 飛び越したい曲数を入力する

飛び越したい曲数のナンバーキーを押す

押したナンバーキーの番号が10秒間点滅表示されます。
最高9曲までの飛び越しができます。

例

3曲飛び越し：3を押す



2 ●手前の曲の頭出しをする

点滅している間に、◀◀スイッチを押す

DPSSと表示され、1で入力した曲数分を巻戻しするとテーププレイが始まります。

メモ 曲が始まって3秒間は、1つ前の曲を「今の曲」("0"曲目)として数えます。

●先の曲の頭出しをする

点滅している間に、▶▶スイッチを押す

DPSSと表示され、1で入力した曲数分を早送りするとテーププレイが始まります。

解除

途中で解除したいときは、

▶/||スイッチを押す

DPSSが解除されて、テーププレイになります。



TAPE

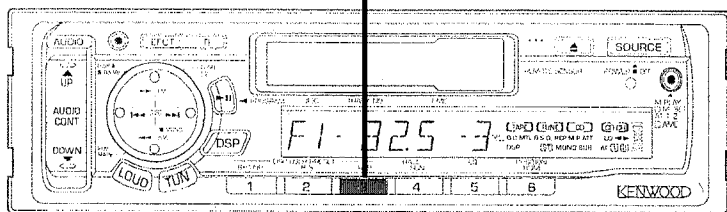
リピートプレイ

同じ曲を繰り返して聴く

26

TAPE MODE

リピートプレイ



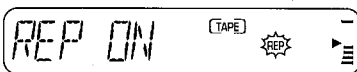
操作

リピートプレイをONにする

REPスイッチを押す

REP ONと表示され、リピートプレイがONになります。

REPインジケーターが点灯し、現在聴いている曲を繰り返して演奏します。



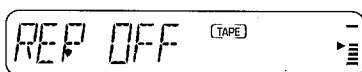
ON

解除

PROGRAMスイッチまたはREPスイッチを押す

REP OFFと表示され、リピートプレイがOFFになります。

REPインジケーターが消えます。



メモ テーププレイを止めると、リピートプレイは自動的に解除されます。



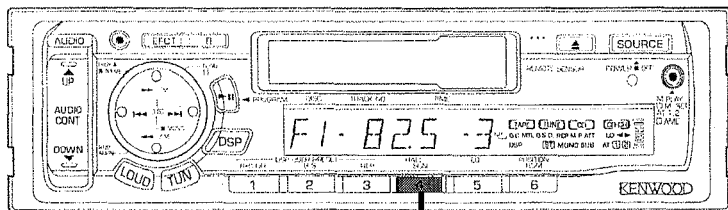
TAPE



TAPE

インデックススキャンプレイ

聴きたい曲を探す



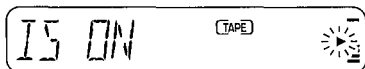
1, 2

操作

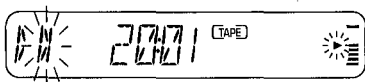
1 スキャンプレイを始める

SCN スイッチを押す

IS ON と表示され、テープに録音されている各曲の最初の部分だけを次々と演奏します。



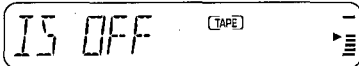
スキャンプレイ中は 表示が点滅します。



2 聴きたい曲が見つかったら

PROGRAM スイッチまたは SCN スイッチを押す

IS OFF と表示され、スキャンプレイが解除されてテーププレイになります。



メモ テーププレイを止めると、スキャンプレイは自動的に解除されます。



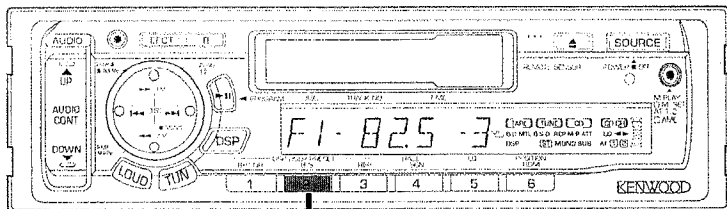
TAPE

ブランクスキップ

長い無録音部分を自動的に早送りする

28

TAPE MODE



ブランクスキップ

操作

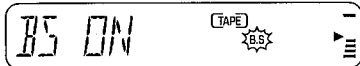
ブランクスキップをONにする

B.Sスイッチを押す

BS ONと表示され、ブランクスキップがONになります。

B.Sインジケーターが点灯します。

10秒以上無録音部分が続くと、自動的に次の曲まで早送りします。



ON

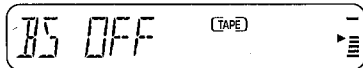
- (メモ) 初期状態はブランクスキップがONになっています。

解除

B.Sスイッチを押す

BS OFFと表示され、ブランクスキップがOFFになります。

B.Sインジケーターが消えます。



- (メモ) 無録音部分の雑音が非常に大きいときは、ブランクスキップをしないことがあります。
- 録音レベルが非常に小さい部分が曲の途中で10秒以上続くと、ブランクスキップすることがあります。この場合は、ブランクスキップをOFFにしてください。



TAPE

TUNER

MODE



TUNER

FMスイッチ

FM放送受信に切り替えます。

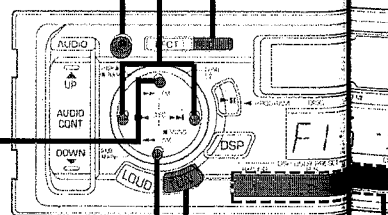
31

モノラル AM/MONO スイッチ

AM放送受信に切り替えます。

1秒以上押すと、モノラル受信します。

31,37





TUNER

ネームセット

43 NAME.S スイッチ

2秒以上押すと、ステーションネームセットモードになります。

32 -/+ スイッチ

+スイッチは、受信周波数が上がります。
-スイッチは、受信周波数が下がります。

トラフィックインフォメーション

41 TI スイッチ

交通情報局を受信します。

ソース/パワー

31 SOURCE / POWER スイッチ

押すごとに、モードが切り替わります。
1秒以上押すと、電源OFFになります。

オート1、2/オートメモリー

32,39 AT 1,2 / AME スイッチ

押すごとに、オートチューニング1、オートチューニング2、マニュアルチューニングに切り替わります。

2秒以上押すと、オートメモリーが始まります。

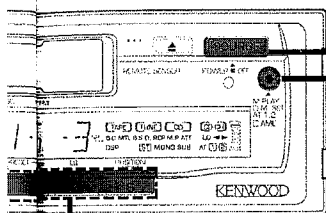
38 チューナーメモリースイッチ

メモリーした放送局を呼び出します。
2秒以上押すと、現在聴いている放送局をメモリーできます。

チューナー

31 TUN スイッチ

チューナー機能のON/OFFができます。
チューナーモード中に押すと、オールスタンバイモードになります。



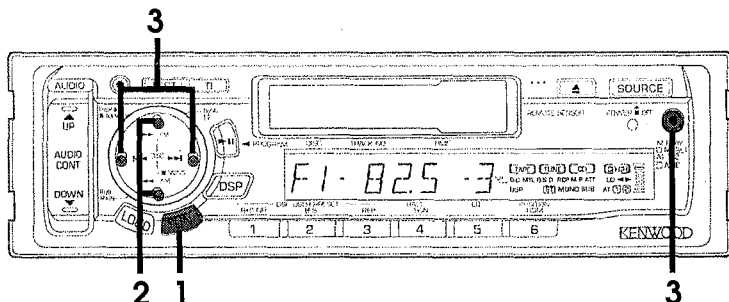


TUNER

オートチューニング

自動的に放送局を探す

TUNER MODE



TUNER

操作

1 チューナーモードにする*

TUNスイッチを押す

チューナー機能がONのときは、SOURCE/POWERスイッチでチューナーモードを選ぶこともできます。TUNER表示がされ、チューナーモードになります。

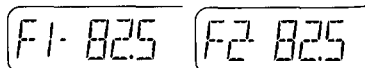


[TUNE] インジケーターが点灯し、チューナー受信が始まります。

2 聴きたいバンドを選ぶ

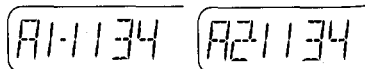
FMスイッチまたはAMスイッチを押す

FMスイッチを押すごとにFM1とFM2バンドとに切り替わり、AMスイッチを押すごとにAM1とAM2バンドとに切り替わります。選んだバンドの表示がされます。



FM 1

FM 2



AM 1

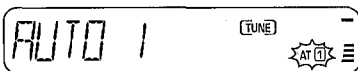
AM 2



3 ●オートチューニング1を使う

AT 1,2 スイッチを押す

AUTO 1と表示され、AT1インジケータが点灯するとオートチューニング1モードです。

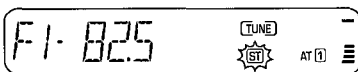


＋スイッチまたは－スイッチを押す

＋スイッチを押すと高い周波数へ、－スイッチを押すと低い周波数へ放送局を探し始めます。

放送局を見つけると、受信を始めます。

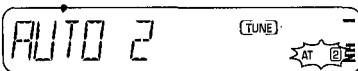
ステレオ放送を受信すると、STインジケータが点灯します。



●オートチューニング2を使う

AT 1,2 スイッチを押す

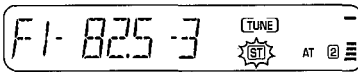
AUTO 2と表示され、AT2インジケータが点灯するとオートチューニング2モードです。



＋スイッチまたは－スイッチを押す

チューナーメモリースイッチにメモリーしてある放送局を順に受信します。＋スイッチを押すとチューナーメモリースイッチの番号が上がり、－スイッチを押すと番号が下がります。

ステレオ放送を受信すると、STインジケータが点灯します。



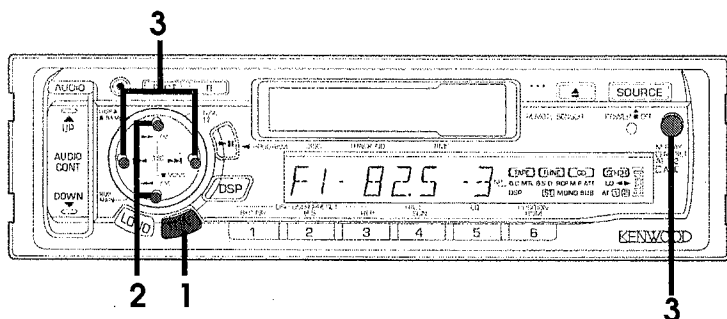


TUNER

マニュアルチューニング

オートチューニングでは受信できない放送局を聴く

TUNER MODE



操作

1 チューナーモードにする

TUNスイッチを押す

チューナー機能がONのときは、SOURCE/POWERスイッチでチューナーモードを選ぶこともできます。

TUNER表示がされ、チューナーモードになります。

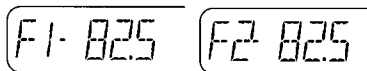


2 聴きたいバンドを選ぶ

FMスイッチまたはAMスイッチを押す

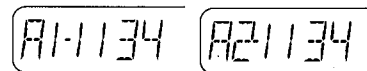
FMスイッチを押すごとにFM1とFM2バンドとに切り替わり、AMスイッチを押すごとにAM1とAM2バンドとに切り替わります。

選んだバンドの表示がされます。



FM 1

FM 2



AM 1

AM 2



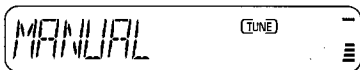
TUNER



3

AT 1, 2スイッチを押す

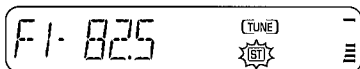
MANUAL と表示され、AT1・2インジケータが消えるとマニュアルチューニングモードです。

**＋スイッチまたは－スイッチを押す**

＋ スイッチを押すと高い周波数を、
－ スイッチを押すと低い周波数を受信します。

1回押すと1ステップ変わり、押し続けると連続して変わります。

ステレオ放送を受信すると、STインジケータが点灯します。

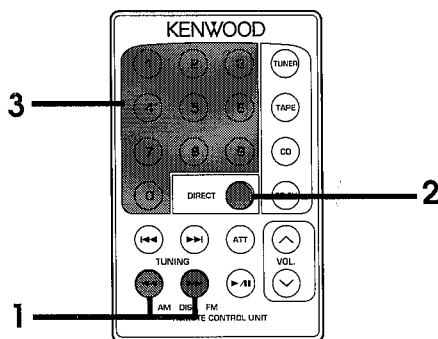




TUNER

ダイレクトチューニング

聴きたい放送局の周波数を入力してチューニングする



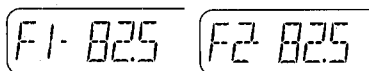
操作

1 聴きたいバンドを選ぶ

FMスイッチまたはAMスイッチを押す

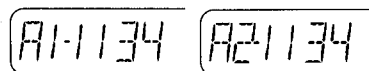
FMスイッチを押すごとにFM 1 とFM 2 バンドとに切り替わり、AMスイッチを押すごとにAM 1 とAM 2 バンドとに切り替わります。

選んだバンドの表示がされます。



FM 1

FM 2



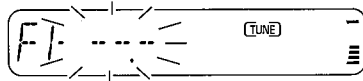
AM 1

AM 2

2

DIRECTスイッチを押す

DIRECTと表示され、周波数表示部に---が10秒間点滅表示されます。





3

周波数表示が点滅表示している間に、聴きたい放送局の周波数を入力する

例

FM 82.5MHz

押すスイッチ：⑧／②／⑤

AM 1134kHz

押すスイッチ：①／①／③／④

入力した周波数の放送局を受信します。

メモ 各バンドの受信周波数以外は入力できません。

解除

途中で解除するときは、DIRECTスイッチを押す

ダイレクトチューニングが解除され、通常の周波数表示になります。

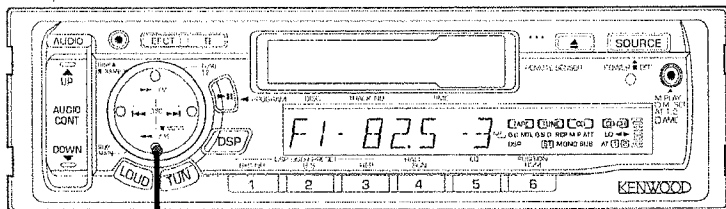


TUNER

モノラル受信

雑音を少なくして聴く

TUNER MODE



モノラル受信

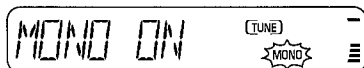
操作

モノラルで受信する

AM/MONOスイッチを1秒以上
押す

MONO ONと表示され、モノラル
受信になります。

MONOインジケーターが点灯します。



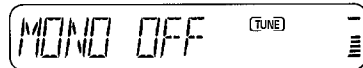
モノラル受信中

解除

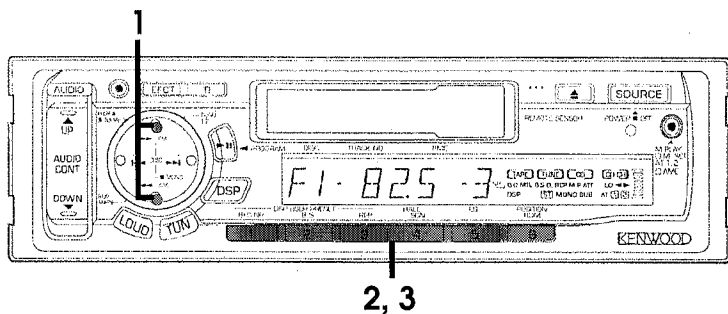
AM/MONOスイッチを1秒以上
押す

MONO OFFと表示され、モノラル
受信が解除されます。

MONOインジケーターが消えます。



放送局をメモリーして、ワンタッチで受信できるようにする



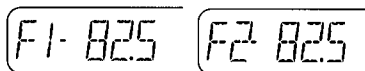
操作

1 メモリーしたいバンドを選ぶ

FMスイッチまたはAMスイッチを押す

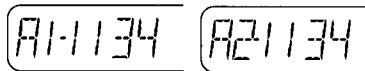
FMスイッチを押すごとにFM1とFM2バンドとに切り替わり、AMスイッチを押すごとにAM1とAM2バンドとに切り替わります。

選んだバンドの表示がされます。



FM1

FM2



AM1

AM2

2 チューナーメモリーする

メモリーしたい放送局を受信し、チューナーメモリースイッチ1~6のいずれかを2秒以上押す

メモリー No.インジケーターが点滅から点灯に変わり、押したスイッチ放送局がメモリーされます。

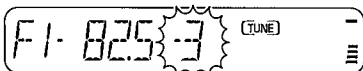


メモ FM1、FM2、AM1、AM2の各バンドに、それぞれ6局までメモリーできます。

3 メモリーした放送局を受信する

チューナーメモリースイッチの1~6を押す

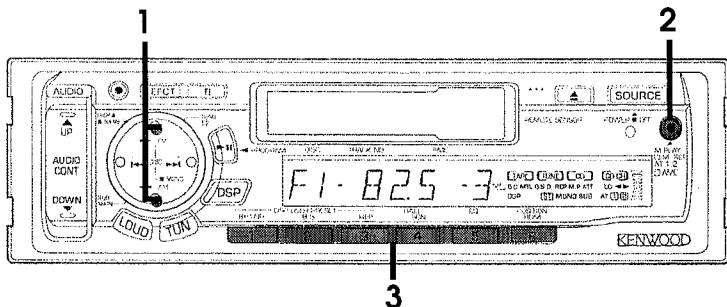
押したスイッチのNoがメモリーNo.インジケーターに表示され、メモリーした放送局を受信します。





オートメモリー

自動的に放送局を探してメモリーする



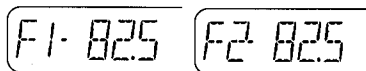
操作

1 メモリーしたいバンドを選ぶ

FMスイッチまたはAMスイッチを押す

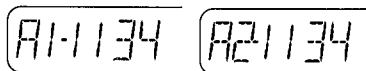
FMスイッチを押すごとにFM1とFM2バンドとに切り替わり、AMスイッチを押すごとにAM1とAM2バンドとに切り替わります。

選んだバンドの表示がされます。



FM 1

FM 2



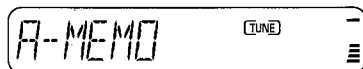
AM 1

AM 2

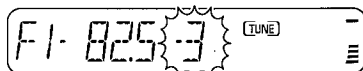
2 オートメモリーする

AT1/2/AMEスイッチを2秒以上押す

A-MEMOと表示され、オートメモリーが始まります。



放送局をメモリーすると、メモリーされたスイッチNo.を点滅表示します。



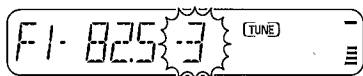
6局メモリーするか、選んだバンドで受信状態の良い放送局をすべてメモリーすると、オートメモリーを終了し、最後にメモリーした放送局を受信します。



3 オートメモリーした放送局を受信する

チューナーメモリースイッチの1
～6を押す

押したスイッチの No.が表示され、
メモリーされている放送局を受信します。

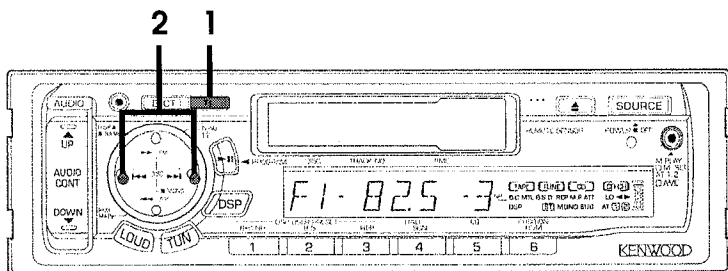




TUNER

トラフィックインフォメーション

交通情報を聴く



操作

1

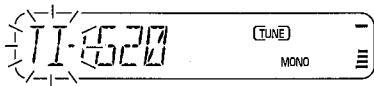
交通情報局を聴く

TIスイッチを押す

INFOと表示され、交通情報局を受信します。



TI表示が点滅し、受信中の周波数を表示します。



- メモ**
- この機能はテープやCDを聴いているときや、オールスタンバイモード中でも使えます。
 - この機能を使用中は自動的にモノラル受信になります。
 - この機能を使用中はDSP機能が一時的に解除されます。

2

別の交通情報局に変える

▶▶スイッチまたは◀◀スイッチを押す

次の交通情報局を受信します。

▶▶スイッチを押すごとに、
1629kHz⇒522kHz⇒1620kHz⇒
1629kHz…と受信します。

◀◀スイッチを押すごとに、
522kHz⇒1629kHz⇒1620kHz⇒
522kHz…と受信します。



解除

TIスイッチまたは
POWER/SOURCEスイッチを押す
TI表示が消え、元のモードに戻り
ます。

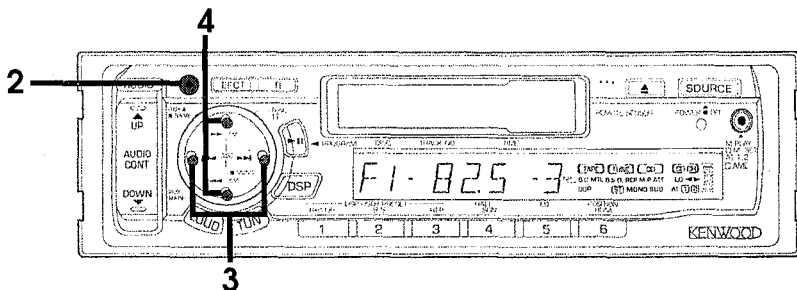


TUNER

ステーションネームプリセット

放送局名をメモリーして表示させる

TUNER MODE



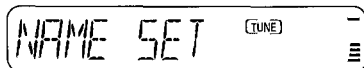
操作

1

放送局名を付けたい周波数に合わせる

2

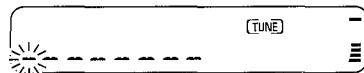
NAME.Sスイッチを2秒以上押す
NAME SETと表示され、ステーションネームセットモードになります。



入力できる位置のカーソルが点滅します。

3

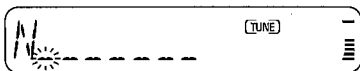
+と-スイッチを押して、文字を入れたいカーソルの位置を点滅させます
+スイッチで右に移動し、-スイッチで左に移動します。



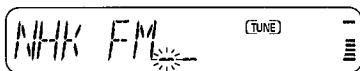


4

FMとAMスイッチを押して、表示したい文字に合わせる



2~3の操作を繰り返して表示させたい放送局名を完成させます。



- メモ**
- 8文字まで表示文字をセットできます。
 - 表示できる文字は、A~Z、0~9、[、]、/、+、-、*、=、<、>です。

解除

NAME.Sスイッチを押す

ステーションネームセットモードが解除され、ステーションネームがセットされます。

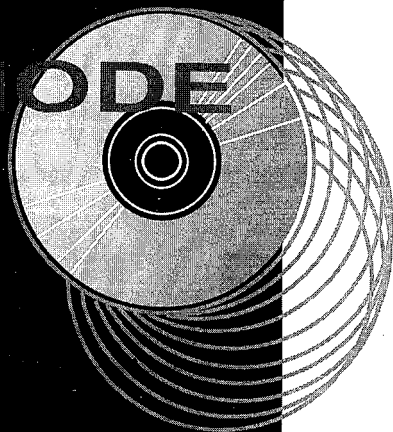
10秒間操作をやめると入力したところまでの文字が自動的にメモリーされ解除されます。

- メモ**
- 記憶できるステーションネーム数は、FM/AM合わせて30局です。31局目のステーションネームセットをすると、1局目にプリセットしたステーションネームが自動的に消されます。
 - ステーションネームを変えたいときは、1~2の操作をしたあと以前のステーションネームが表示されますので、3~4の操作を行えば変えることができます。



CD

MODE



auto changer

ディスクサーチスイッチ

DISC+スイッチは、次のディスクを演奏します。

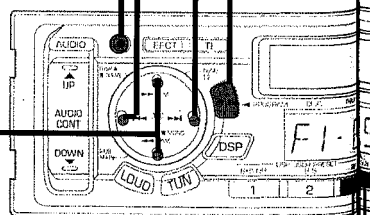
DISC-スイッチは、手前のディスクを演奏します。

リピート

REP スイッチ

トラックリピートプレイのON/OFFができます。

1秒以上押すと、ディスクリピートプレイのON/OFFができます。



50

52,53



ネームセット

63 NAMES スイッチ

2秒以上押すと、ディスクネームプリセットモードになります。

48,49 ◀◀ スイッチ / ▶▶ スイッチ

◀◀ スイッチは、手前の曲ヘトラックサーチします。

押している間は、早戻しします。

▶▶ スイッチは、先の曲ヘトラックサーチします。

押している間は、早送りします。

プレイ/ポーズ

47 ▶/|| スイッチ

押すたびに、CD演奏のプレイ/ポーズができます。

メモリープレイ/メモリーセット

59,61 M.PLAY/M.SET スイッチ

メモリープレイが始まります。

2秒以上押すと、メモリープレイセットモードになります。

ソース/パワー

47 SOURCE/POWER スイッチ

押すたびに、モードが切り替わります。

1秒以上押すと、電源OFFになります。

ランダム

56,57 RDM スイッチ

ディスクランダムプレイを始めます。

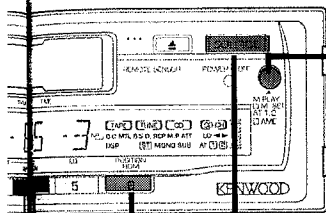
1秒以上押すとマガジンランダムプレイを始めます。

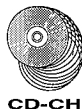
スキャン

54,55 SCN スイッチ

トラックスキャンプレイを始めます。

1秒以上押すとディスクスキャンプレイを始めます。

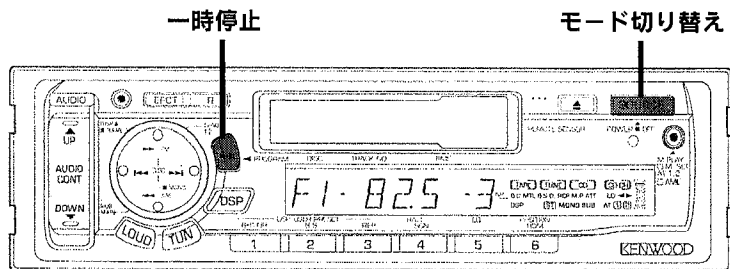




CDプレイ

CDオートチェンジャーを接続してCDを聴く

CD-auto changer MODE

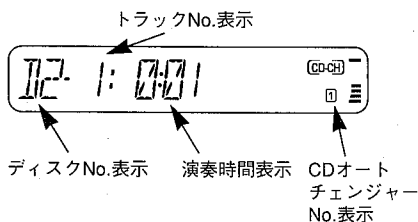


操作

CDオートチェンジャーモードにする

SOURCE/POWERスイッチを押す
[]-[H]が表示されるとCDオートチェンジャーモードです。

CDオートチェンジャーを2台接続しているときは、[]-[H]表示の次に[]-[H]と表示されますので、聴きたいCDオートチェンジャーNo.の方を選びます。選んでいるCDオートチェンジャーNo.が表示されます。[CD-CH]インジケータが点灯して、CDの演奏が始まります。



10枚目のディスクは"10"と表示されます。

操作

CD演奏を一時停止する

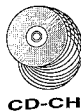
▶/⏸スイッチを押す

CD演奏が一時停止状態になります。もう一度押すと、CDの演奏が始まります。

- (X)** • 最後のトラックを演奏した後は、次のCDを演奏します。最後のCDを演奏した後は、1枚目のCDに戻って演奏します。

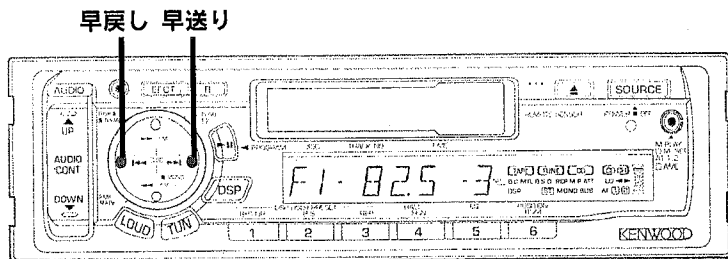
- CDオートチェンジャー内でCDを交換しているときは、[]-[H]と表示されます。

- CDオートチェンジャーを2台接続時に、音や表示に異常があるときは、CDオートチェンジャーのチェンジャーNo.スイッチの設定がまちがっていることが考えられます。CDオートチェンジャーの取扱説明書を参照して確認してください。



早送りと早戻し

聴きたい演奏箇所を選ぶ



操作

●早戻しする

◀◀スイッチを押し続ける
 早戻しが始まります。
 早戻し音が小さく聴こえます。

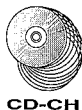
希望のところでスイッチを離す
 スイッチを離れたところから、CDの
 演奏が始まります。

●早送りする

▶▶スイッチを押し続ける
 早送りが始まります。
 早送り音が小さく聴こえます。

希望のところでスイッチを離す
 スイッチを離れたところから、CDの
 演奏が始まります。



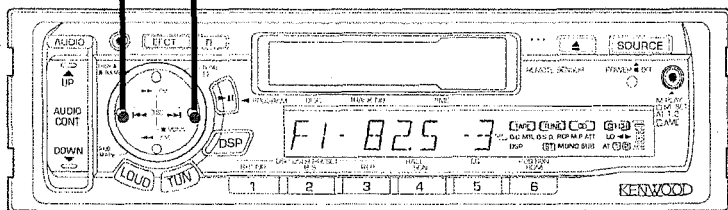


CD-CH

トラックサーチ

聴きたい曲を選ぶ

手前の曲 先の曲

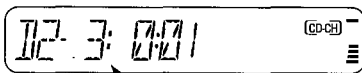


操作

●手前の曲を選ぶ

◀◀スイッチを押す

スイッチを1回押すと聴いている曲の最初に戻り、押すたびに表示されるトラックNo.が小さくなります。表示されているトラックNo.の曲を演奏します。



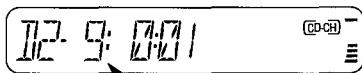
トラックNo.表示

ⓧモ 1トラック目で操作すると、1トラックの最初に戻り、最後のトラックにはサーチしません。

●先の曲を選ぶ

▶▶スイッチを押す

スイッチを押すたびに、表示されるトラックNo.が大きくなります。表示されているトラックNo.の曲を演奏します。



トラックNo.表示

ⓧモ 最後のトラックで操作すると、トラックサーチしません。



CD-CH



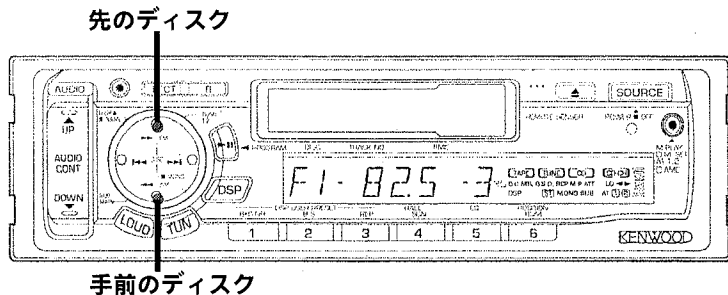
CD-CH

ディスクサーチ

聴きたいディスクを選ぶ



CD-CH

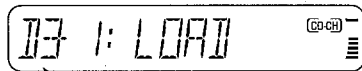


操作

●手前のディスクを選ぶ

DISC-スイッチを押す

スイッチを押すたびに、表示されるディスク No.が小さくなります。表示されているディスク No.の CD を演奏します。

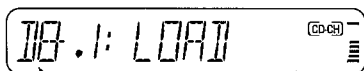


ディスクNo.表示

●先のディスクを選ぶ

DISC+スイッチを押す

スイッチを押すたびに、表示されるディスク No.が大きくなります。表示されているディスク No.の CD を演奏します。



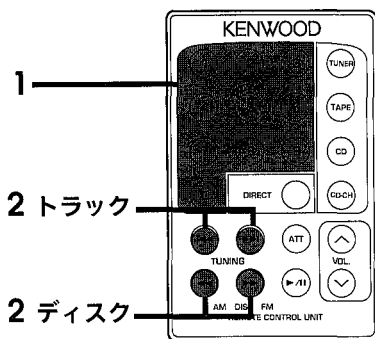
ディスクNo.表示

(メモ) 押し続けるとディスク No.が連続して変わります。



ダイレクトトラック/ディスクサーチ

聴きたいトラック/CDナンバーを入力して演奏する



操作

1 聴きたいCDを演奏する

聴きたいトラックまたはCDナンバーを入力する

入力したトラックまたはCDナンバーが10秒間点滅表示されます。



- ⓧモ ディスクNo.10のCDをダイレクトディスクサーチするときは、「0」を入力します。

解除

途中で解除したいときは、▶/|| スイッチを押す

ダイレクトトラック/ディスクサーチが解除され、通常のディスプレイ表示になります。

2 ●ダイレクトトラックサーチをする

点滅表示している間に、◀◀または▶▶スイッチを押す

1で入力したトラックの演奏が始まります。

- ⓧモ 聴いているCDに無いトラックNo.が表示されていると、最後のトラックへダイレクトトラックサーチをします。

●ダイレクトディスクサーチをする

点滅表示している間に◀◀または▶▶スイッチを押す

1で入力したCDの演奏が始まります。

- ⓧモ 数字が2桁表示されているときは、右側の数字のディスクNo.へダイレクトディスクサーチします。

例

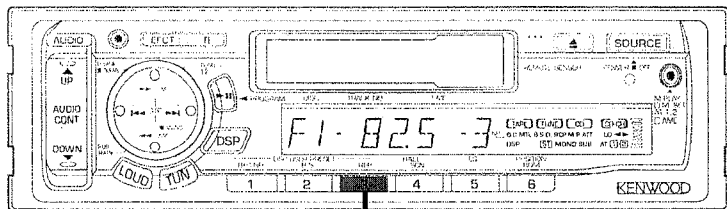
表示13⇒ディスクNo.3へ

表示20⇒ディスクNo.10へ



トラックリピートプレイ

同じ曲を繰り返し聴く

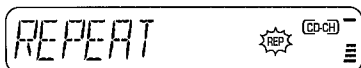


トラックリピートプレイ

操作

トラックリピートプレイを開始する

繰り返し聴きたい曲を選んで、**REP**スイッチを押す
 REPEATと表示され、トラックリピートプレイがONになります。
 REPインジケーターが点灯します。
 現在聴いている曲を繰り返し演奏します。



解除

REPスイッチを押す
 REPインジケーターが消え、トラックリピートプレイが解除されます。

メモ CD演奏を止めると、トラックリピートプレイは解除されます。

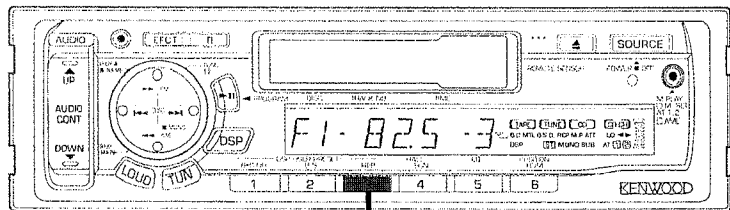




CD-CH

ディスクリピートプレイ

同じCDを繰り返して聴く



ディスクリピートプレイ

操作

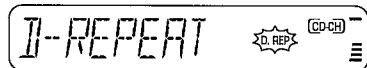
ディスクリピートプレイを開始する

REPスイッチを1秒以上押す

II-REPEATと表示され、ディスクリピートプレイがONになります。

D.REPインジケータが点灯します。

現在聴いているCDを繰り返し演奏します。



解除

REPスイッチを押す

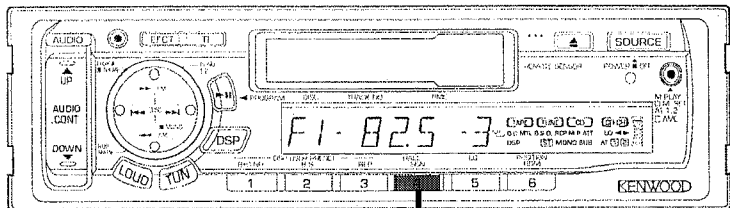
D.REPインジケータが消え、ディスクリピートプレイが解除されます。

メモ CD演奏を止めると、ディスクリピートプレイは解除されます。



トラックスキャンプレイ

聴きたい曲を探す



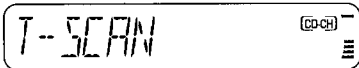
1, 2

操作

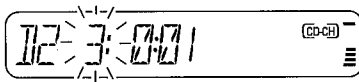
1 トラックスキャンプレイを始める

SCNスイッチを押す

T-SCANと表示され、トラックスキャンプレイがONになります。



各トラックの最初の部分を、次々と10秒間ずつ演奏します。演奏中のトラックNo.表示が点滅します。

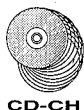


2 聴きたい曲が見つかったら

SCNスイッチまたは▶/||スイッチを押す

トラックスキャンプレイが解除され、通常のディスプレイに戻ります。

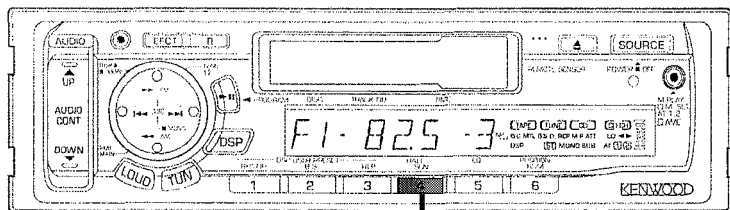
- メモ • CD演奏を止めると、トラックスキャンプレイは解除されます。
- 聴いているCDのすべてのトラックをスキャンプレイするとトラックスキャンプレイは解除されます。



CD-CH

ディスクキャンプレイ

聴きたいCDを探す



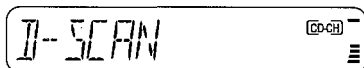
1, 2

操作

1 ディスクキャンプレイを始める

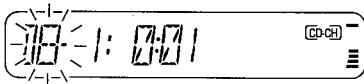
SCNスイッチを1秒以上押す

II-SCANと表示され、ディスクキャンプレイがONになります。



各ディスクの最初の部分を、次々と10秒間ずつ演奏します。

演奏中のディスクNo.表示が点滅します。



2 聴きたいCDのところまで

SCNスイッチまたは▶/||スイッチを押す

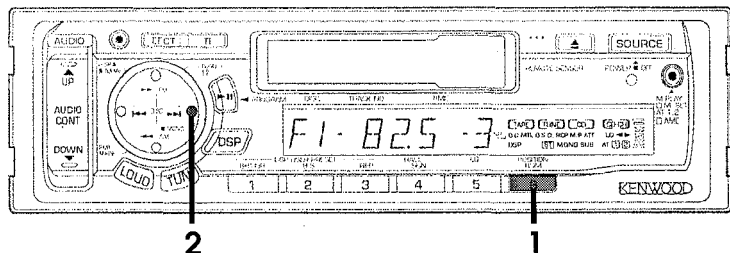
ディスクキャンプレイが解除され、通常のディスプレイに戻ります。

- メモ**
- CD演奏を止めると、ディスクキャンプレイは解除されます。
 - ディスクマガジンに入っているCDをすべてスキャンプレイするとディスクキャンプレイは解除されます。



ランダムプレイ

自動的に曲を選んで演奏する

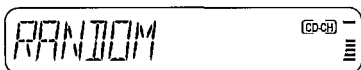


操作

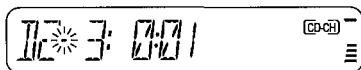
1 ランダムプレイを始める

RDMスイッチを押す

RANDOMと表示され、トラックの選択が始まります。



トラック選択中は、トラックNo.の表示が次々に変わります。
トラックが選ばれると、演奏が始まります。
ランダムプレイ中は -- 表示が点滅します。



メモ 聴いているCDのすべてのトラックをランダムプレイすると、次のCDのランダムプレイを始めます。

2 曲を変える

▶▶スイッチを押す

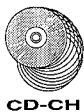
次の曲の選択が始まります。

解除

RDMスイッチを押す

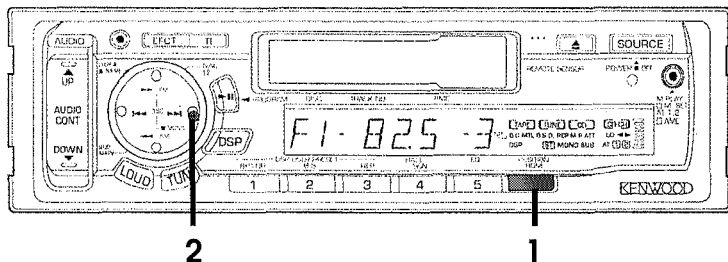
通常のディスプレイに戻ります。

メモ CD演奏を止めるとランダムプレイは解除されます。



マガジンランダムプレイ

チェンジャーに入っているCDから自動的に曲を選んで演奏する

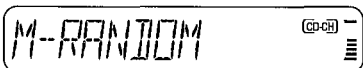


操作

1 マガジンランダムプレイを始める

RDMスイッチを1秒以上押す

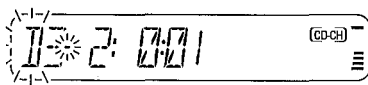
M-RANDOMと表示され、CDとトラックの選択が始まります。



CD/トラック選択中はCD/トラックNo.が次々に変わります。

CD/トラックが選ばれると、演奏が始まります。

マガジンランダムプレイ中は、『』と『』表示が点滅表示します。



2 曲を変える

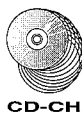
▶▶を押す

次の曲の選択が始まります。

**解除****RDMスイッチを押す**

通常のディスプレイに戻ります。

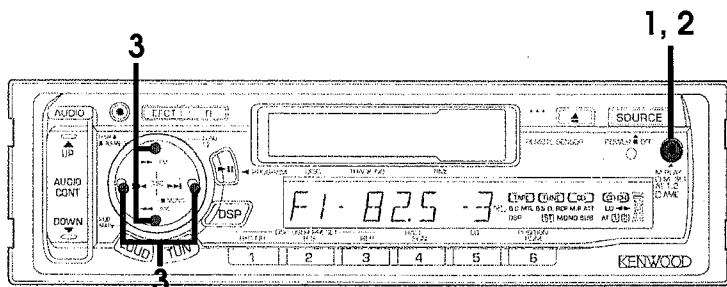
- (X)E** CD演奏を止めると、マガジンランダムプレイは解除されます。



CD-CH

メモリープレイセット

メモリープレイしたい曲を選ぶ



操作

1

M.PLAY/M.SETスイッチを2秒以上押す

M-SETと表示され、次々に各曲の最初の10秒間を演奏します。

MPインジケーターが点滅します。

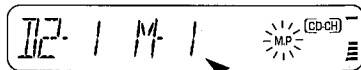


2

メモリープレイしたい曲のところで

M.PLAY/M.SETスイッチを押す

メモリーNo.が表示され、演奏中の曲がメモリーされます。



メモリーNo.

- メモ**
- 記憶できる曲数は、100曲です。101曲目のメモリーセットをすると、メモリーNo.1の曲が自動的に消されます。
 - 100曲目のメモリーNo.は"0"と表示されます。
 - メモリープレイした曲の消しかたは、62ページの"メモリープレイ"を参照してください。



3 メモリーしたい曲を指定する

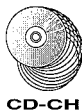
DISC+/-スイッチを押してCD No.を選び、◀◀/▶▶スイッチでトラックNo.を選ぶ

選んだ曲の演奏が始まったら、2の操作をします。

解除

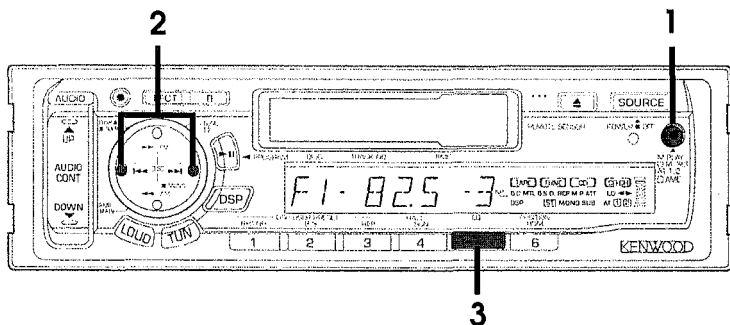
M.PLAY/M.SETスイッチを2秒以上押す

MPインジケータが消え、メモリーブレイセットモードが解除されます。



メモリープレイ

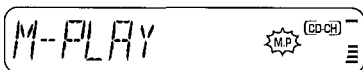
聴きたい曲だけを好きな順番で演奏する



操作

1 メモリープレイで曲を聴く

M.PLAY/M.SET スイッチを押す
M-PLAYと表示され、メモリーNo.順
にメモリープレイが始まります。
MPインジケーターが点灯します。



2 ほかのメモリーNo.の曲を聴く

◀◀または▶▶スイッチを押す

- メモ**
- メモリープレイセットされている曲がディスクマガジン内にあるか確認するため、メモリープレイが始まるまで数分かかるときがあります。
 - CDオートチェンジャーに入っているCDに、メモリープレイセットされている曲がないときは、"NO DATA"と表示されメモリープレイが解除されます。



3 ●メモリープレイセットした曲を1曲消す

消したい曲のメモリープレイ中に"5"スイッチを押す

演奏している曲がメモリープレイから消され、次のメモリーNo.の曲を演奏します。

●メモリープレイセットした曲をすべて消す

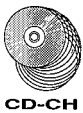
メモリープレイ中に"5"スイッチを2秒以上押す

メモリープレイセットされている曲をすべて消し、メモリープレイが解除されます。

解除

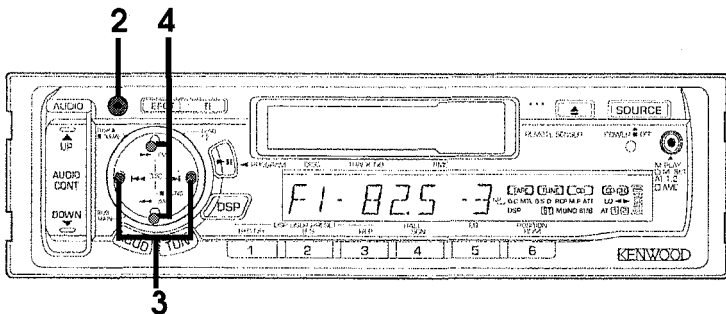
M.PLAY/M.SET スイッチを押す

MPインジケーターが消え、メモリープレイが解除されます。



ディスクネームプリセット

CDの名前をメモリーして表示する



操作

1

ディスクネームプリセットした
いCDを演奏する

2

NAME.Sスイッチを2秒以上押す
FILE SETと表示され、ディスクネー
ムプリセットモードになります。
入力できる位置のカーソルが点滅し
ます。

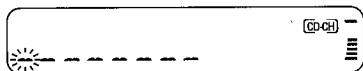




3

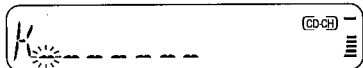
◀◀または▶▶スイッチを押して、文字を入れたいカーソルの位置を点滅させます

▶▶スイッチで右に移動し、◀◀スイッチで左に移動します。

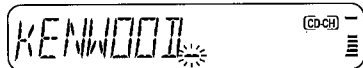


4

DISC+またはDISC-スイッチを押して、表示したい文字に合わせる



2~3の操作を繰り返して表示させたCD名を完成させます。



- メモ**
- 8文字まで表示文字をセットできます。
 - 表示できる文字は、A~Z、0~9、[、]、/、+、-、*、=、<、>です。

解除

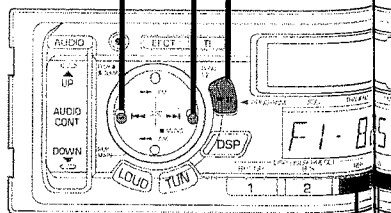
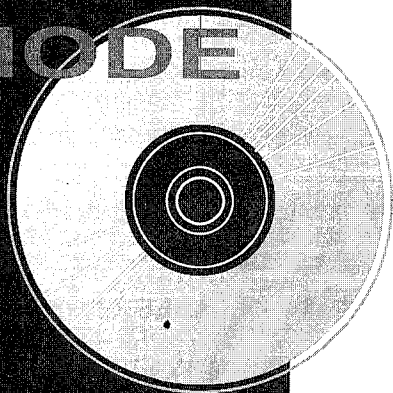
NAME.Sスイッチを押す

ディスクネームプリセットモードが解除され、ディスクネームがセットされます。

10秒間操作をやめると、入力したところまでの文字が自動的にメモリーされ、解除されます。

- メモ**
- 記憶できるCDの枚数は100枚です。101枚目のディスクネームプリセットをすると、1枚目にプリセットしたディスクネームが自動的に消されます。
 - CDの識別は総録音時間とトラック数で判断しています。同じ録音時間と同じトラック数のCDがあった場合は識別ができなくなります。
 - ディスクネームを変えたいときは、1~2の操作をしたあと以前のディスクネームが表示されますので、3~4の操作を行えば変えることができます。

CD MODE



リピート

REP スイッチ

トラックリピートプレイのON/OFFができます。



70 ◀◀ スイッチ / ▶▶ スイッチ

◀◀ スイッチは、手前の曲へトラックサーチします。

押している間は、早戻しします。

▶▶ スイッチは、先の曲へトラックサーチします。

押している間は、早送りします。

プレイ/ポーズ

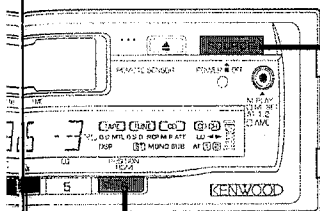
68 ▶/|| スイッチ

押すたびに、CD演奏のプレイ/ポーズができます。

ソース/パワー

67 SOURCE/POWER スイッチ

押すたびに、モードが切り替わります。
1秒以上押すと、電源OFFになります。



74 ランダム RDM スイッチ

ランダムプレイを始めます。

スキャン

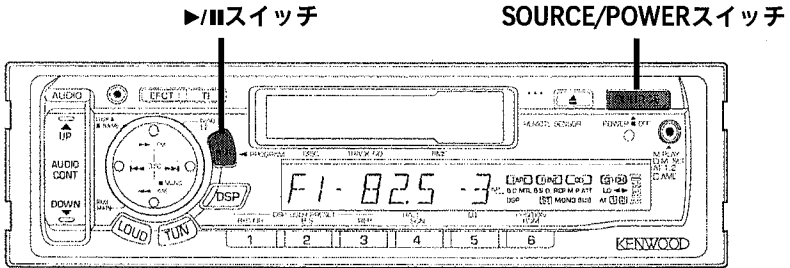
73 SCN スイッチ

トラックスキャンプレイを始めます。



CD プレイ

CDプレーヤーを接続してCDを聴く



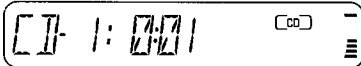
操作

●CDが入っていないとき

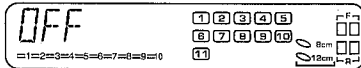
D705にCDのラベル面を上にして
CDを差し込む

CDが引き込まれると「CD」と表示がされ、CDの演奏が始まります。

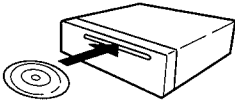
[CD]インジケーターが点灯します。



挿入されたCDサイズがD705に表示されます。



CDサイズ表示



メモ 8cmCDについて

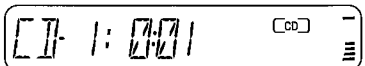
8cmCD(シングルCD)も12cmCDと同じようにそのまま差し込めば演奏できます。

●CDが入っているとき

SOURCE/POWERスイッチを押す

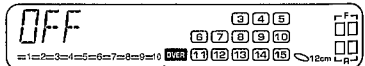
「CD」表示がされてCDモードになり、演奏が始まります。

[CD]インジケーターが点灯します。



メモ カレンダー表示

D705では、入っているCDのトラック数をトラックNo.インジケーターが点灯してお知らせします。トラック数が16以上のときはOVERインジケーターが点灯します。演奏が終わったトラックのインジケーターは順次消えていきます。



OVERインジケーター

カレンダー表示



操作

CD演奏を一時停止する

▶/||スイッチを押す

演奏時間表示が点滅し、CDの演奏が一時停止状態になります。

もう一度押すと、CD演奏が始まります。

操作

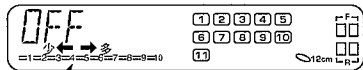
CDを取り出す

D705の▲スイッチを押す

CDが出てきます。

メモ • CD残量表示

演奏中のCDの演奏残量時間をD705のディスプレイで表示します。



CD残量表示

- 最後のトラックの演奏が終わると最初のトラックの演奏に戻ります。

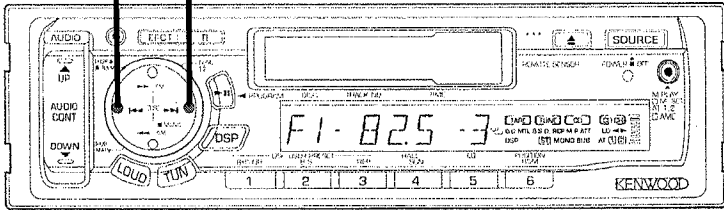


CD

早送りと早戻し

聴きたい演奏箇所を選ぶ

早戻し 早送り



操作

●早戻しする

◀◀スイッチを押し続ける
 押している間、早戻しをします。
 早戻し音が小さく聞こえます。
 聴きたい所で指を離します。

●早送りする

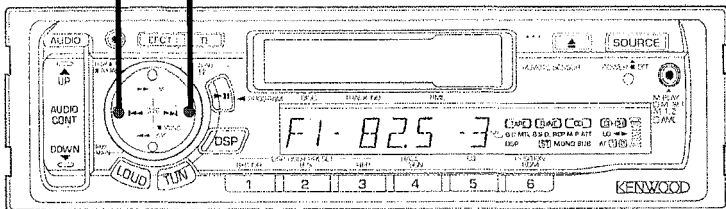
▶▶スイッチを押し続ける
 押している間、早送りをします。
 早送り音が小さく聞こえます。
 聴きたい所で指を離します。



トラックサーチ

聴きたい曲の頭出しをする

手前の曲 先の曲

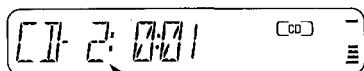


操作

●手前の曲にする

◀◀スイッチを押す

スイッチを押すたびに、表示されるトラックNo.が小さくなります。



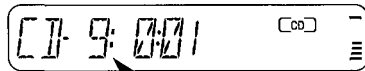
トラックNo.表示

表示されているトラックNo.の曲を演奏します。

●先の曲にする

▶▶スイッチを押す

スイッチを押すたびに、表示されるトラックNo.が大きくなります。



トラックNo.表示

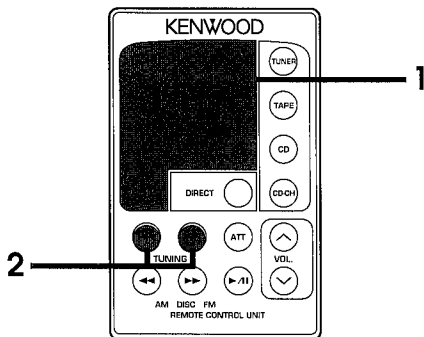
表示されているトラックNo.の曲を演奏します。





ダイレクトトラックサーチ

聴きたいトラックナンバーを入力して演奏する



操作

1

聴きたいトラックナンバーを入力する

入力したトラックナンバーが10秒間点滅表示されます。



トラックナンバー表示

2

点滅している間に、◀◀ または ▶▶ スイッチを押す

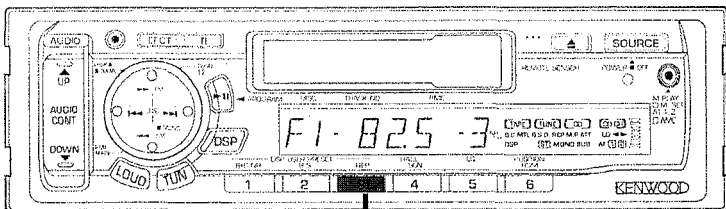
1 で入力したトラックの演奏が始まります。

- メモ** 聴いているCDに無いトラックナンバーが表示されていると、最後のトラックへダイレクトトラックサーチします。



トラックリピートプレイ

同じ曲を繰り返し演奏する

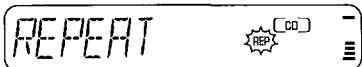


トラックリピートプレイ

操作

トラックリピートプレイを開始する

繰り返し聴きたい曲を選んで、**REPスイッチ**を押す
REPEATと表示され、トラックリピートプレイがONになります。
REPインジケータが点灯します。



現在聴いている曲を繰り返して演奏します。

解除

REPスイッチを押す
REPインジケータが消え、通常のCD演奏に戻ります。

メモ 曲の選択には

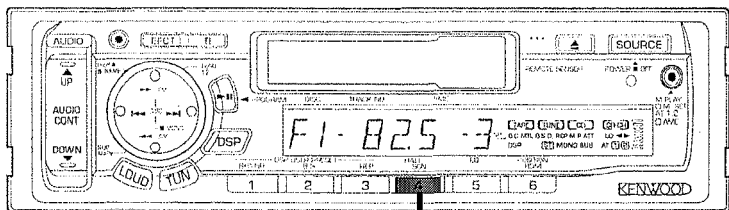
聴きたい曲を選ぶには、トラックサーチやトラックスキャンプレイ機能を使うと便利です。





トラックスキャンプレイ

聴きたい曲を探す



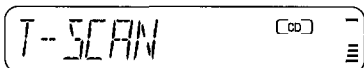
1, 2

操作

1 聴きたい曲を探す

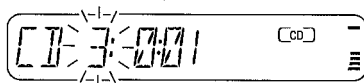
SCNスイッチを押す

T-SCANと表示され、トラックスキャンプレイがONになります。



各トラックの先頭部分を、次々と10秒間ずつ演奏します。

演奏中のトラック No.表示が点滅します。



2 聴きたい曲が見つかったら

SCNスイッチまたは▶/||スイッチを押す

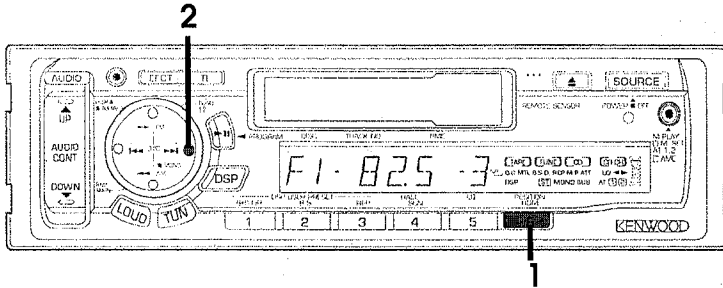
トラックスキャンプレイが解除され、通常のディスクプレイに戻ります。

メモ すべてのトラックをスキャンプレイすると、トラックスキャンプレイは解除されます。



ランダムプレイ

自動的に曲を選んで演奏する

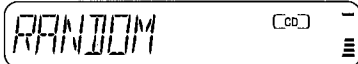


操作

1 ランダムプレイを始める

RDMスイッチを押す

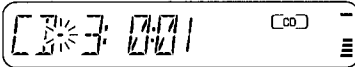
RANDOMと表示され、トラックの選択が始まります。



トラック選択中は、トラックナンバーの表示が次々に変わります。

トラックが選ばれると演奏が始まります。

ランダムプレイ中は" - "表示が点滅します。



2 曲を変える

▶▶スイッチを押す

次の曲の選択が始まります。

解除

RDMスイッチを押す

通常のディスプレイに戻ります。

TV

MODE



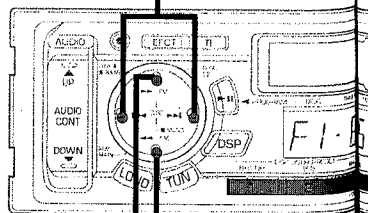
TV 1・2/VD スイッチ

テレビとビデオとに切り替わります。

サブ/メイン

SUB/MAIN スイッチ

音声多重放送中にこのスイッチを押すと、
主音声と副音声とに切り替わります。



77

79



83 -/+スイッチ

＋スイッチは、受信チャンネルが上がります。
－スイッチは、受信チャンネル下がります。

ソース/パワー 77 SOURCE/POWER スイッチ

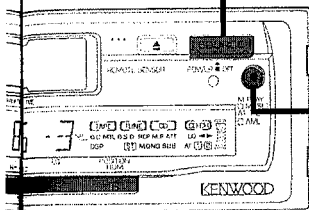
押すたびに、モードが切り替わります。
1秒以上押すと、電源OFFになります。

81 AT1・2 スイッチ

オートチューニングをON/OFFします。

78,80 チャンネルメモリースイッチ

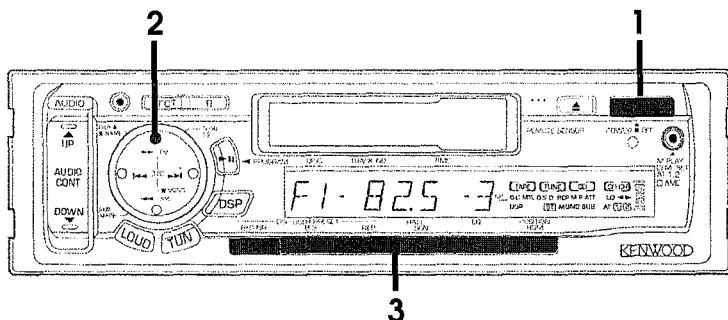
メモリーしたテレビ局を呼び出します。
2秒以上押すと、現在見ているテレビ局をメモリーできます。





テレビ・ビデオの見かた

テレビやビデオをコントロールする



操作

1 TVモードにする

SOURCE/POWER スイッチを押す

TV表示がされるとTVモードです。



2 テレビ・ビデオを選ぶ

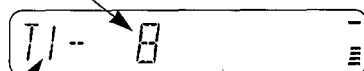
TV1・2/VDスイッチを押す

スイッチを押すごとに、TV1→TV2→ビデオ→TV1…の順に切り替わります。

モードに合わせて表示が変わります。テレビのときはバンド表示・チャンネルNo.表示をします。

ビデオのときはV I I E O表示をします。

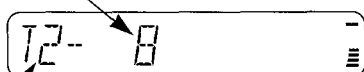
チャンネル No.表示



TV1 バンド

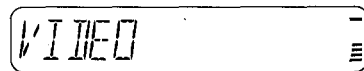
バンド表示

チャンネル No.表示



TV2 バンド

バンド表示



ビデオ

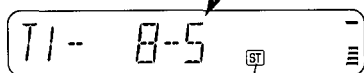


3 テレビのチャンネルを変える

チャンネルメモリースイッチを 押す

押したスイッチにメモリーされているチャンネル No.が表示され、テレビ放送を見ることができます。

チャンネルメモリー No.



ステレオ放送を受信すると点灯します。

- メモ** 初期状態では、TV1、TV2各バンドに以下のチャンネルがメモリーされています。
メモリーされている放送局を変えたときは、「チャンネルメモリー (P80)」を参照してください。

チャンネルメモリースイッチ	1	2	3	4	5	6
TV1メモリーチャンネル	1	4	6	8	9	47
TV2メモリーチャンネル	1	3	4	6	8	10

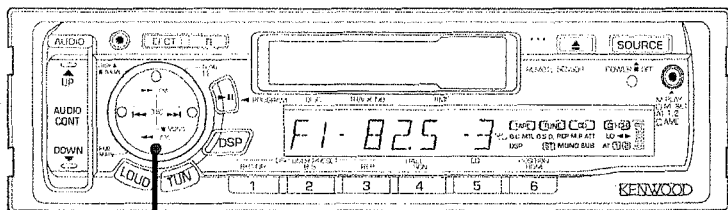
- メモ** サイドブレーキを引いていないと、テレビ・ビデオを見ることはできません。



TV

音声の切り替え

サブの音声とメインの音声を切り替える



音声切り替え

操作

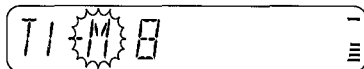
サブ・メインの音声を切り替える

SUB/MAINスイッチを押す

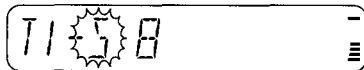
押すごとにテレビの音声は、サブとメインとに切り替えられます。

音声に合わせてディスプレイの表示が変わります。

メモ 音声は、2か国語放送を受信しているとき切り替えられます。



メイン音声

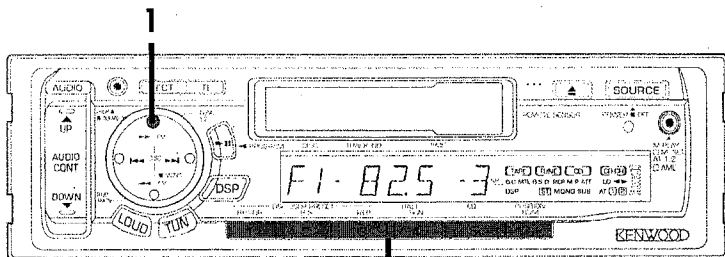


サブ音声



チャンネルメモリー

TV放送局をメモリーして、ワンタッチで受信できるようにする

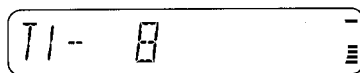


2,3

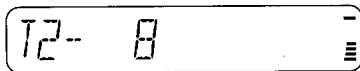
操作

1 メモリーしたいバンドを選ぶ

TV1・2/VDスイッチを押す
選んだバンドが表示されます。



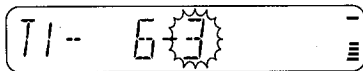
TV1 バンド



TV2 バンド

2 チャンネルメモリーする

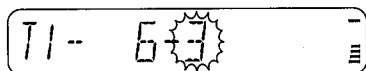
メモリーしたい放送局を受信し、
チャンネルメモリースイッチ1～
6のいずれかを2秒以上押す
メモリー No.インジケータが点滅か
ら点灯に変わり、押したスイッチに
放送局がメモリーされます。



メモ TV1、TV2の各バンドに、6局までメモリーできます。

3 メモリーしたチャンネルを見る

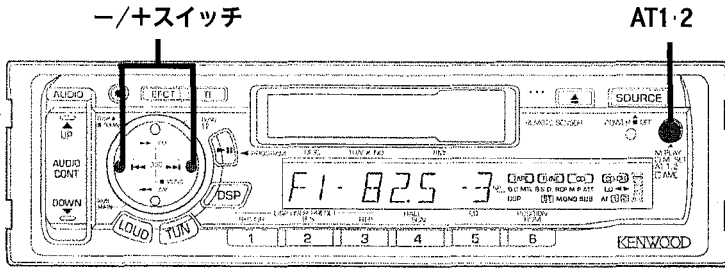
チャンネルメモリースイッチ 1
～6を押す
押したスイッチのNo.がメモリー No.
インジケータに表示され、メモリー
したチャンネルを受信します。





チューニング

メモリーされていないチャンネルを見る



操作

●オートチューニングする

ATインジケータが消えているときは、AT1・2スイッチを押す

AUTOと表示されオートチューニングがONになります。

ATインジケータが点灯します。



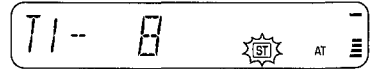
ON
(オートチューニング)

+スイッチまたは-スイッチを押す

+スイッチを押すと受信しているチャンネルより高い方へ、-スイッチを押すと受信しているチャンネルより低い方へオートチューニングします。

放送局を見つけると、受信を始めます。

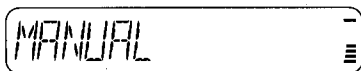
ステレオ放送では、STインジケータが点灯します。





● マニュアルチューニングする

ATインジケータが点灯しているときは、AT1・2スイッチを押す *MANUAL* と表示され、マニュアルチューニングモードになります。ATインジケータが消えます。



OFF
(マニュアルチューニング)

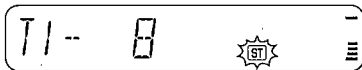
+スイッチまたは-スイッチを押す

+スイッチを押すごとに1チャンネル上がり、-スイッチを押すごとに1チャンネル下がります。

スイッチを押し続けると、連続してチャンネルが変わります。

お好みの放送局のチャンネルに合わせます。

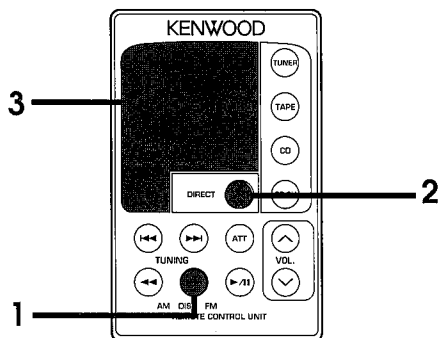
ステレオ放送では、STインジケータが点灯します。





ダイレクトチューニング

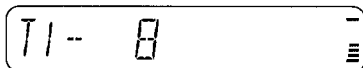
見たいテレビ局のチャンネルを入力してチューニングする



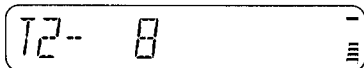
操作

1 バンドを選ぶ

テレビ/ビデオスイッチを押す
選んだバンドの表示がされます。



TV1 バンド

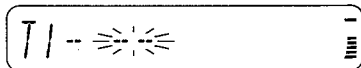


TV2 バンド

2

DIRECTスイッチを押す

*DIRECT*と表示され、チャンネル表示部に--が10秒間点滅表示されます。



**解除****途中で解除するときは
DIRECTスイッチを押す**

ダイレクトチューニングが解除され、
通常のチャンネル表示になります。

3

チャンネル表示が点滅表示して
いる間に、見たいTV局のチャン
ネルを入力する

例

1チャンネル

押すスイッチ：①/①

10チャンネル

押すスイッチ：①/①

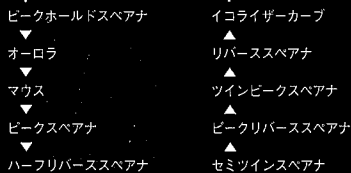
入力したチャンネルのTV局を受信し
ます。

DSP MODE



DISP スイッチ

押すたびに、ディスプレイ表示が



の順に切り替わります。
1秒以上押すと、デモンストレーションが
始まります。

◀/▶ スイッチ

デジタルイコライザーのレベル調整が
できます。
ホールシミュレーション調整モード中は、
残響レベルの調整ができます。
ポジションコントロール調整モード中は、
前後への調整ができます。

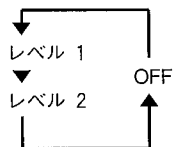
◀◀/▶▶ スイッチ

デジタルイコライザーの調整バンドを選べ
ます。
ホールシミュレーション調整モード中は、
遅延時間の調整ができます。
ポジションコントロール調整モード中は、
左右への調整ができます。

EFCT スイッチ

101

押すたびに、エフェクトレベルが

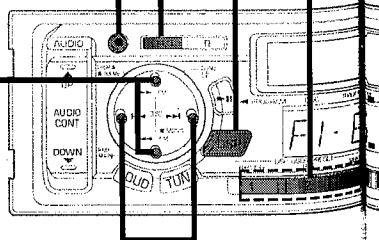


の順に切り替わります。
X905では1秒以上 押すと、サブウーファ
出力のON/OFFができます。

93

89

89

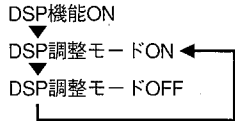




87

DSP スイッチ

DSP機能のONと、DSP調整モードのON/OFFをします。押すたびに、



の順に切り替わります。1秒以上押すと、DSP機能がOFFになります。

99

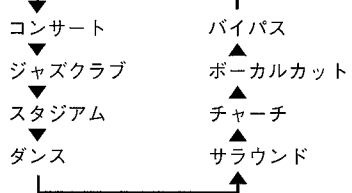
DSP USER PRESET スイッチ

メモリーしたDSP設定を呼び出せます。2秒以上押すと、現在のDSP設定がメモリーできます。

88

HALL スイッチ

押すたびに、ホールシミュレーションが

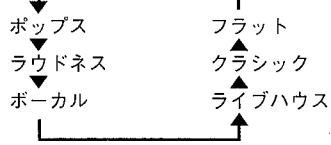


の順に切り替わります。1秒以上上押すと、ホールシミュレーション調整モードになります。

89

EQ スイッチ

押すたびに、デジタルイコライザーが

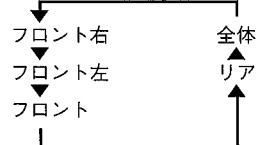


の順に切り替わります。

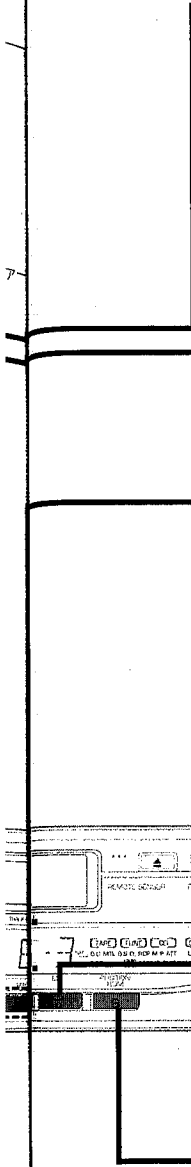
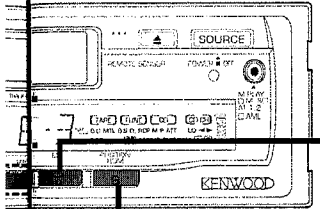
91

POSITION スイッチ

押すたびに、ポジションコントロールが



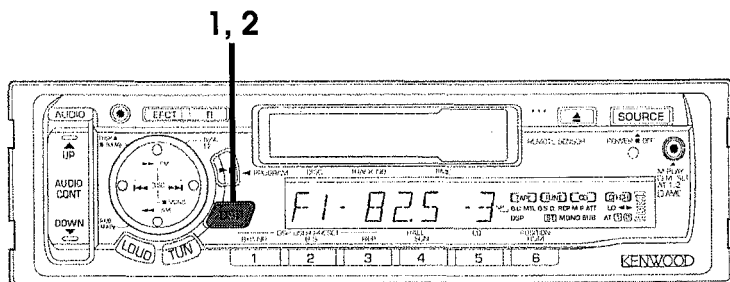
の順に切り替わります。1秒以上押すと、ポジションコントロール調整モードになります。





DSP コントロール

DSPを接続して音響効果を楽しむ



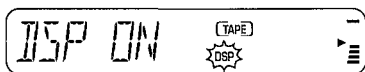
操作

1 DSP機能をONにする

DSPスイッチを押す

DSP ONと表示され、DSP機能がONになります。

DSPインジケータが点灯します。

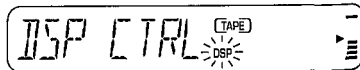


2 DSP機能を調整する

DSPスイッチを押す

DSP CTRLと表示され、DSPコントロールモードになります。

DSPインジケータが点滅します。以後のDSPコントロール機能はこのモードで行ってください。



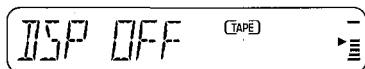
解除

DSP機能の解除

DSPスイッチを1秒以上押す

DSP機能が解除されます。

DSP OFFと表示され、DSPインジケータが消えます。



解除

DSPコントロールモードの解除

DSPスイッチを押すか、10秒間操作をやめる

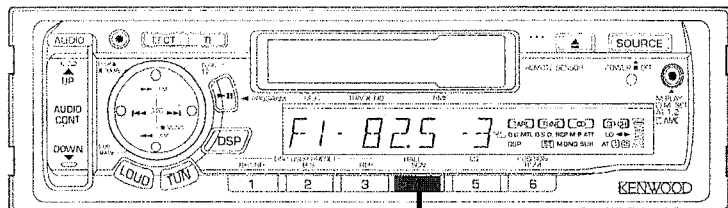
今聴いているモードや他のモードを選んでも解除されます。

DSPコントロールモードが解除され、DSPインジケータの点滅が止まります。



ホールシミュレーション

音響効果の設定を変える



ホールシミュレーション



操作

HALL スイッチを押す

スイッチを押すたびに下の表の順番で切り替わります。

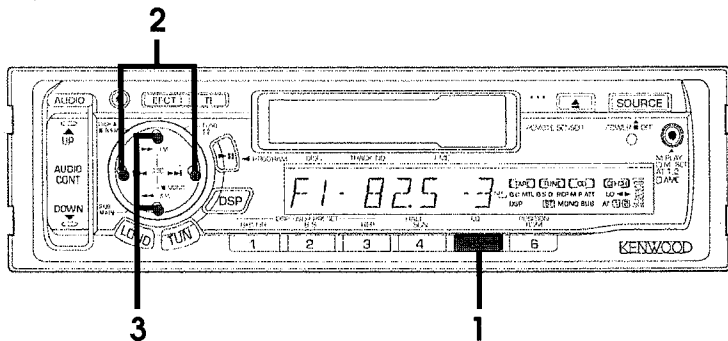
名称	場所および効果	残響レベル (%)	遅延時間 (m SEC)
D705/P705の表示			
コンサート	大会場のライブの臨場感を再現して車内を大きな音響空間に変えます。また、あらゆるソースをBGM的に聴きたいときにも適しています。	50	30
CLUB	眼前で演奏する小規模なジャズクラブのステージを体験できます。また狭い空間から解放されやや広めのリスニングルームの音場を再現します。	25	15
STAD	広大なスタジアム会場での解放感に満ちたサウンドがふれだします。	75	60
INCE	熱気あふれるディスコのビートサウンドをメリハリよく再現します。	50	30
SURR	リスナーを音を取り巻くサラウンド効果を選択するポジションです。	—	—
CHUR	ヨーロッパ伝統の大聖堂の響きを再現、小編成のクラシックに最適です。	25	80
V-C	ボーカルを消去してカラオケ化します。	—	—
BYP5	ホールシミュレーション効果を加えずに現音をそのまま出力します。	—	—

- ×メモ
- ラジオ受信状態が悪いときにサラウンド・ボーカルカットを選択すると雑音が出ることがありますので、ほかのポジションで使用してください。
 - ソースの録音状態や録音方法などにより、ボーカルカットの効果が十分に得られないことがあります。



デジタルイコライザー

曲に合わせて音質を変える



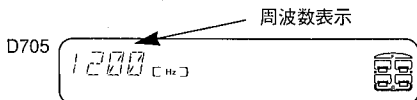
操作

1 イコライザーカーブを選ぶ

EQスイッチを押す
スイッチを押すたびに次ページの表の順番で切り替わります。

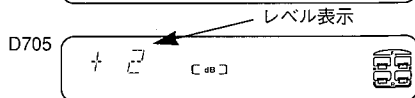
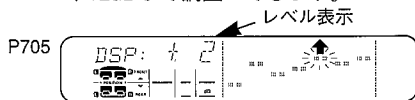
2 調整したいバンドを選ぶ

◀◀または▶▶スイッチを押す
点滅しているバンドが調整できます。
◀◀を押すと調整できる周波数バンドが下がり、▶▶を押すと上がります。



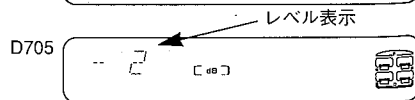
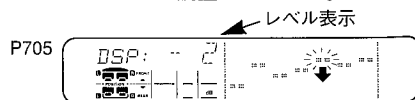
3 ●レベルを上げる

バンド表示が点滅している間に、
+ スイッチを押す
レベルが上がります。
+12dBまで調整ができます。



●レベルを下げる

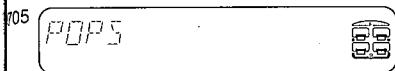
バンド表示が点滅している間に、
- スイッチを押す
レベルが下がります。
-12dBまで調整ができます。





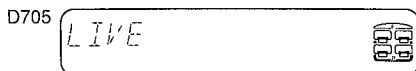
1. ポップス

インストゥルメンタル、ボーカルにメリハリつけます。



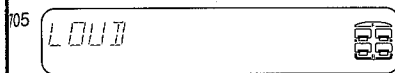
4. ライブハウス

小編成の楽器の持ち味を生かした、ライブの雰囲気を再現します。



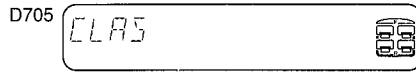
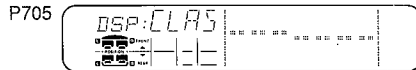
2. ラウドネス

高音、低音を強調したメリハリのある音にします。小さな音で聴いているときに効果的です。



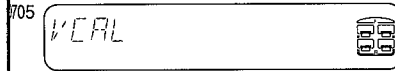
5. クラシック

コントラバスをベースにした、ピラミッド的に構成した雄大なオーケストラの再生などに適しています。



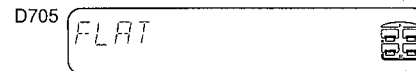
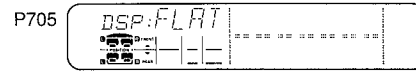
3. ボーカル

人間の声の領域を中心に強調し、ボーカルのつやが強められ、眼前に歌い手の姿をほうふつさせます。



6. フラット

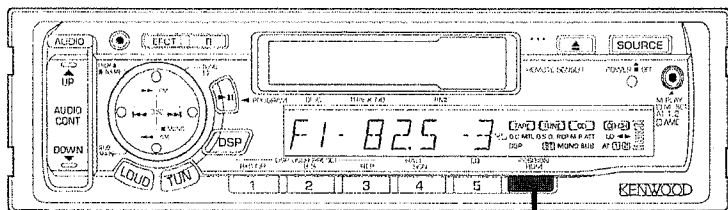
イコライザー効果を効かせずに、自然な音の状態にします。





ポジションコントロール

聴く位置によるDSP効果の調整



ポジションコントロール

操作

POSITIONスイッチを押す

スイッチを押すたびに次ページの表の順番で切り替わります。

- メモ
 • ポジションコントロールは選択したポジションの音が強調されるのではなく、選択したポジションを中心にDSP効果を出すためのものです。
- ポジションコントロールを行うときは、DSP効果の劣化を防ぐためバランス調整を中央位置に戻してください。



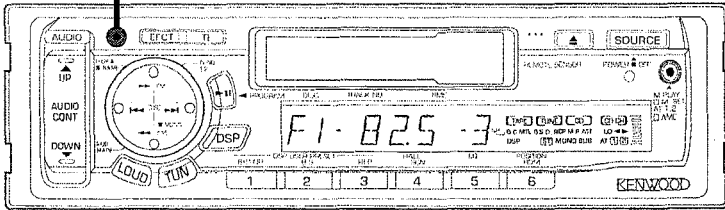
ポジション	ポジション表示	
	P705	D705
フロント右		
フロント左		
フロント		
リア		
全体		



ディスプレイコントロール

サウンドをビジュアル的に楽しむ

ディスプレイコントロール



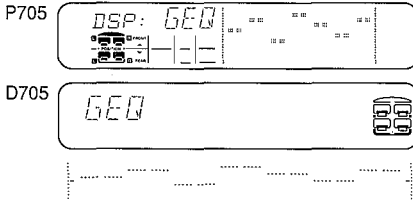
操作

DISPスイッチを押す

スイッチを押すごとに1~10の表示に切り替わります。

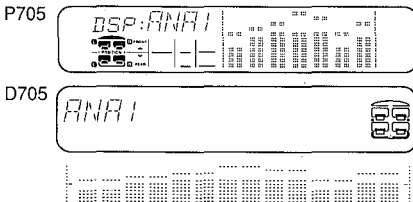
①イコライザーカーブ

現在使用しているイコライザーカーブを表示します。



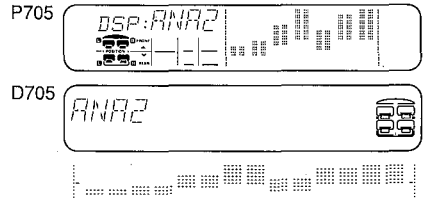
②ピークホールドスเปアナ

ピークホールド機能付きのスペアナ表示をします。



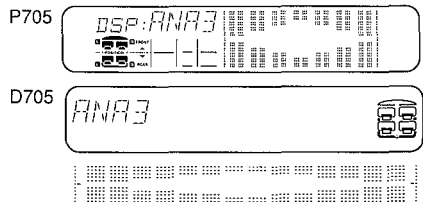
③オーロラ

オーロラ状の波形カーブを表示します。



④マウス

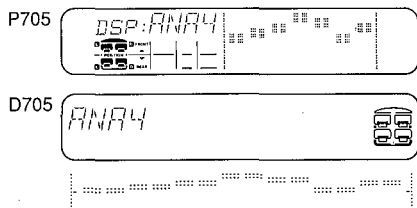
中心部分から音量に合わせて反転表示します。





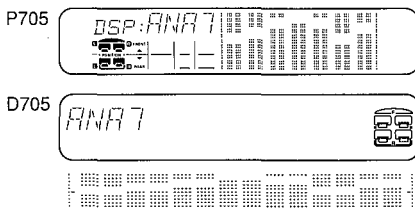
⑤ピークスペアナ

ピークレベルだけを表示するスペアナです。



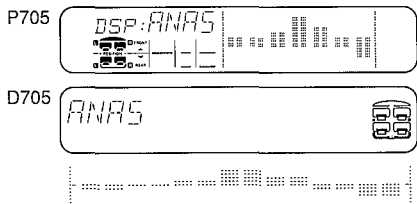
⑧ピークリバースペアナ

ピークレベルを反転表示します。



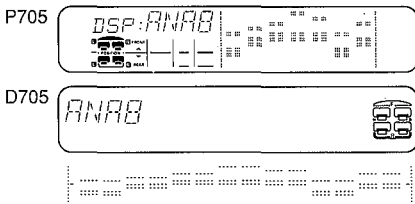
⑥ハーフリバースペアナ

スペアナが、下側では反転表示され、上側では通常表示されます。



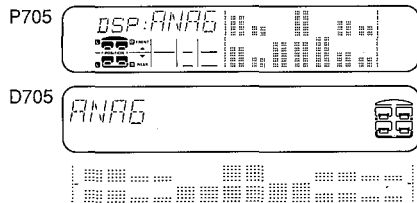
⑨ツインピークスペアナ

ピークホールド表示と、スペアナの最上値だけの表示をします。



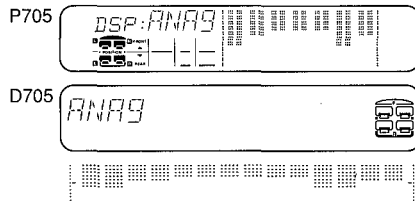
⑦セミツインスペアナ

スペアナのレベル表示が大きくなると、中央より超えた分を上下2カ所で表示します。



⑩リバースペアナ

スペアナを反転表示します。

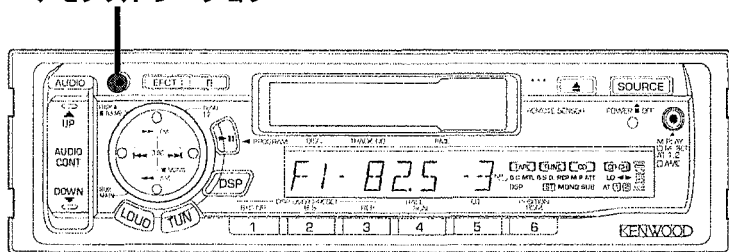




デモンストレーション

DSPの効果を試してみる

デモンストレーション



操作

デモンストレーションをする

DISPスイッチを1秒以上押す

DEMOと表示され、次の順番でデモンストレーションが始まります。

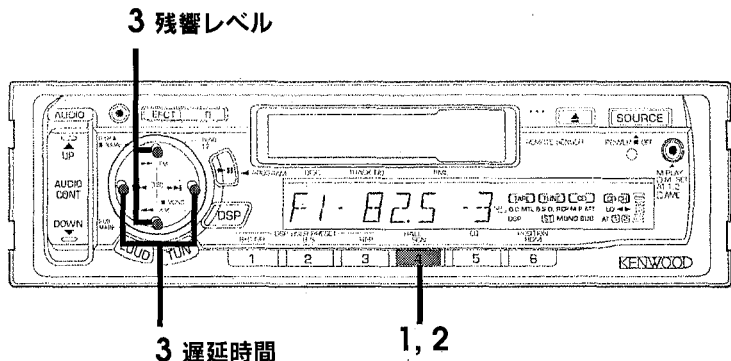
ホールシミュレーション (8種類)
 →ポジション (5種類) →デジタル
 イコライザー (6種類) →ディス
 プレイコントロール (10種類) →デ
 モンストレーション解除



解除

EFCTスイッチを押す

デモンストレーションが途中で解除
 されます。

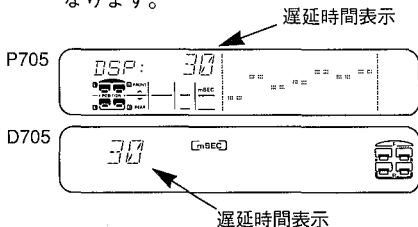
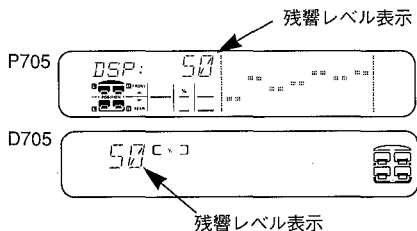

操作

1 調整するホールシミュレーションを選ぶ
HALLスイッチを押す

2 ホールシミュレーション調整モードにする
HALLスイッチを1秒以上押す
ホールシミュレーション調整モードになります。

3 ●残響レベルの調整をする
◀◀/▶▶スイッチを押す
◀◀スイッチを押すと残響レベルが小さくなり、▶▶スイッチを押すと大きくなります。

●遅延時間の調整をする
◀◀/▶▶スイッチを押す
◀◀スイッチを押すと遅延時間が短くなり、▶▶スイッチを押すと長くなります。



0%から100%まで25%刻みで調整ができます。

0ミリ秒から100ミリ秒まで5ミリ秒刻みで調整ができます。

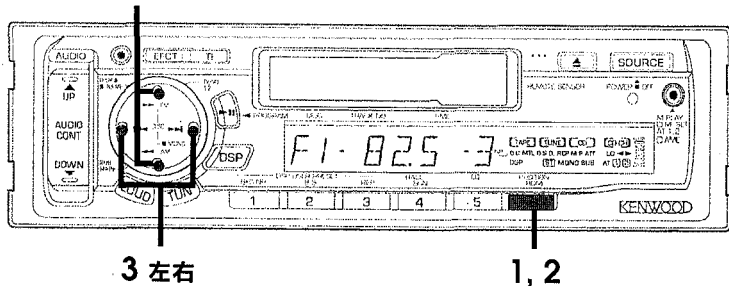
- ☒ ●調整した内容は自動的にメモリーされ、次回からは調整されたホールシミュレーションが呼び出されます。
- バイパス、サラウンド、ボーカルカットは調整できません。



ポジションコントロール調整

ポジションコントロールの位置補正をする

3 フロント/リア



3 左右

1, 2

操作

1

調整するポジションを選ぶ

POSITION スイッチを押す

2

ポジションコントロール調整モードにする

POSITION スイッチを 1 秒以上押す

ポジションコントロール調整モードになります。

3

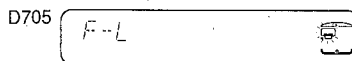
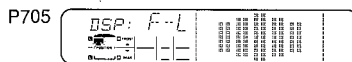
●フロント/リア側に微調整する

◀◀/▶▶ スイッチを押す

◀◀ スイッチを押すとリア側に微調整され、▶▶ スイッチを押すとフロント側に微調整されます。



フロント側へ微調整



中央



リア側へ微調整



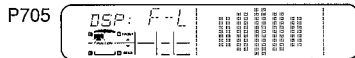
●左右に微調整する

◀◀/▶▶スイッチを押す

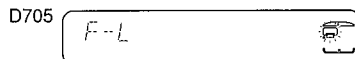
◀◀ スイッチを押すと左側に微調整され、▶▶ スイッチを押すと右側に微調整されます。



右側へ微調整



中央



左側へ微調整

- メモ**
- ポジションコントロールでALLを選択しているときは、調整できません。
 - 調整した内容は自動的にメモリーされ、次回からは調整されたポジションコントロールが呼び出されます。

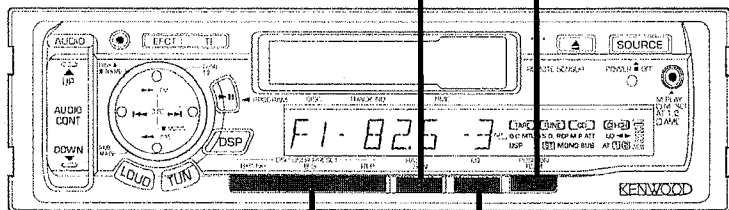


DSP メモリー

DSP の設定をワンタッチで呼び出す

1 ホールシミュレーション

1 ポジションコントロール



2, 3

1 デジタルイコライザー

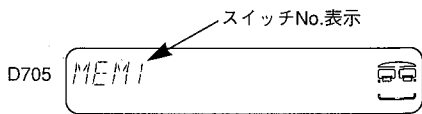
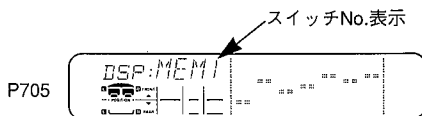
操作

1

メモリーしたいホールシミュレーション/デジタルイコライザー/ポジションコントロールの設定をする

2

DSP USER PRESET スイッチの 1 ~ 3 のいずれかを 2 秒以上押す
押したスイッチの No. が表示されて DSP の設定がメモリーされます。





3 メモリーした DSP 設定を呼び出す

DSP USER PRESET スイッチの 1
～ 3 を押す

メモリーした DSP 設定が呼び出され
ます。

P705



D705

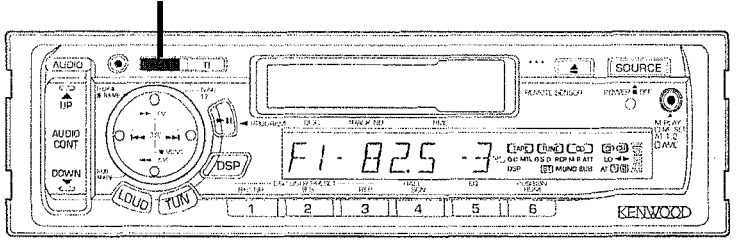




イコライザーエフェクト

デジタルイコライザー効果を調整する

イコライザーエフェクト

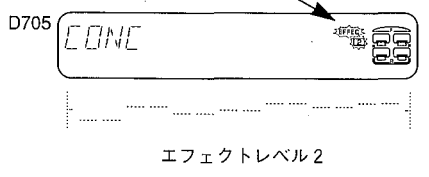
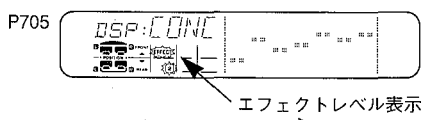
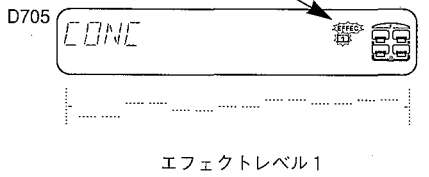
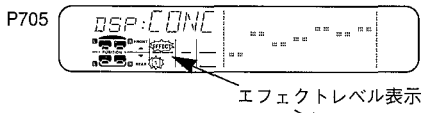


操作

EFCTスイッチを押す・

スイッチを押すごとにエフェクトレベル1、エフェクトレベル2、OFFの順に切り替わります。レベルに合わせてDSPに表示がされます。

- メモ ● エフェクトレベルを変えるごとにイコライザーカーブの最大と最小レベルが変化します。
- イコライザーカーブがフラットの状態では、この機能は使用できません。

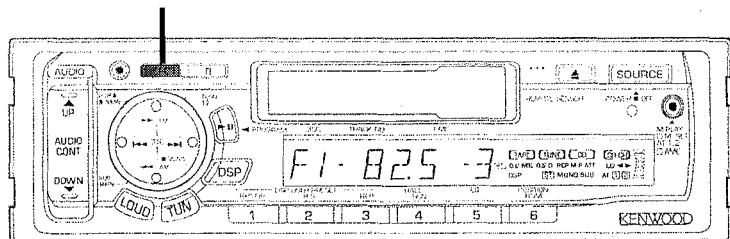




サブウーファーコントロール

サブウーファー出力のON/OFFをする(X905だけの機能)

サブウーファーコントロール

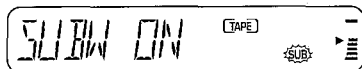


操作

EFCTスイッチを1秒以上押す

SUBW ONと表示され、サブウーファー出力がONになります。

SUBインジケーターが点灯します。

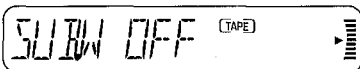


解除

EFCTスイッチを1秒以上押す

SUBW OFFと表示され、サブウーファー出力がOFFになります。

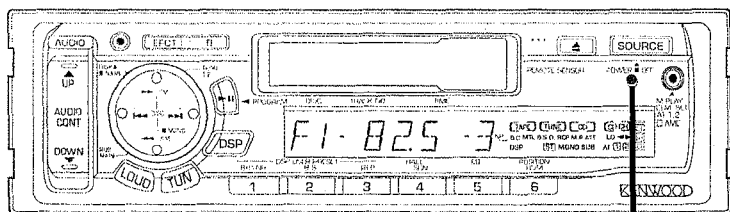
SUBインジケーターが消えます。



メモ サブウーファーの出力レベル調整は7ページを参照してください。



使用上の注意



リセットボタン

電源

本機の電源はDC12V、マイナス接地です。

接続

X905またはR705には次のようなシステムを接続できます。

- D705またはP705
- C705を2台まで
- KTC-V705

上記以上の接続をするとX905またはR705は正常に動作しません。またX905とR705を接続することもできません。

次のような場所には設置しないでください

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所

●
本機内部に金属物や水が入りますとショート事故の原因となり、故障することがありますのでご注意ください。

●
初めて使うときや、バッテリーを交換したときは、ペンの先などでリセットボタンを押してから使用してください。

セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか、やわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷がついたり、文字が消えることがあります。

セットの異常にお気づきのときは

万一、セットの異常にお気づきのときは、まずリセットボタンを押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

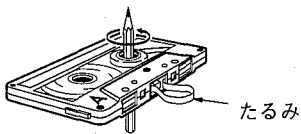
安全運転のために

●
運転中は車外の音が聞こえる音量に調節してお楽しみください。またカーステレオの操作は、停車中に行なうようにして安全運転に心がけてください。

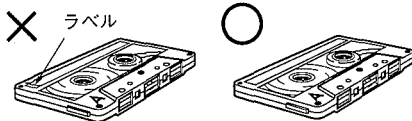
●
ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

テープの取り扱いについて

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルのはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。



カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

120分用テープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起りやすいので使用は避けてください。

ヘッドクリーニングについて

本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店やレコード販売店で市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。

頭出し

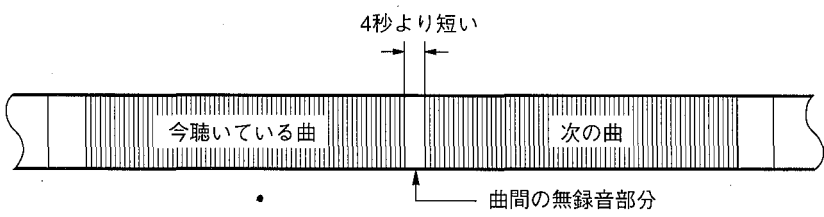
ご使用の前に

頭出しとは、自動的に曲の先頭を見つけてテーププレイを始める機能です。この機能は、曲間のスキマ(何も録音されていない無録音部分)を検出して行ないません。そのため、次のようなテープでは、スキマを検出できなかったり、曲の途中で「先頭」と判断することがあります。

- 1. 曲間の無録音部分が4秒より短いテープ



●曲間を検出できません。

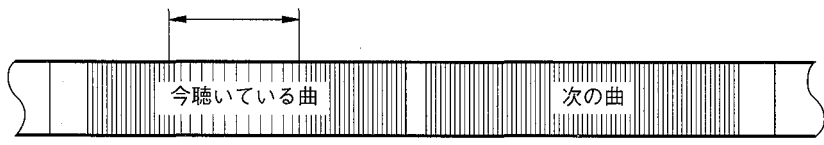


- 2. 曲の途中で非常に小さい音が4秒以上続くテープ



●曲の途中(音の小さい部分)を検出します。

小さい音が4秒以上続く



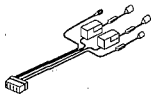
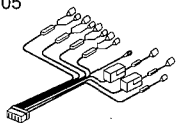
取り付けかた

取り付け部品

電源ハーネス 1 個

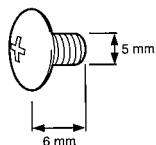
R705

X905



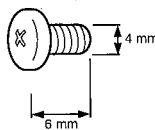
電源を配線するコードです。
先に各コードを配線しておき、最後にコネクタをセットに接続してください。

トラスネジ(赤)(M5×6).....4 個



本機を取付金具などを使用して取り付けるときに使用します。

バインドネジ(M4×6) 1 個

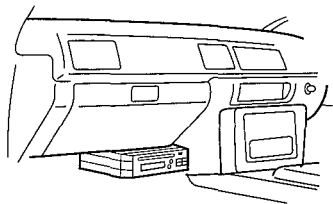


本機を取付金具などを使用して取り付けるときに使用します。

取り付けかた

ワイヤリングキットまたは取り付けキットを使用することにより、車にジャストフィットした取り付けができます。詳細はカタログをご覧ください。

コンソールやダッシュボードに取り付けスペースがないときは、別売の汎用ラック SK-1800 により、ダッシュボードの下などに取り付けられます。



詳細は、SK-1800 の組み立て説明書をご覧ください。

注意

取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。

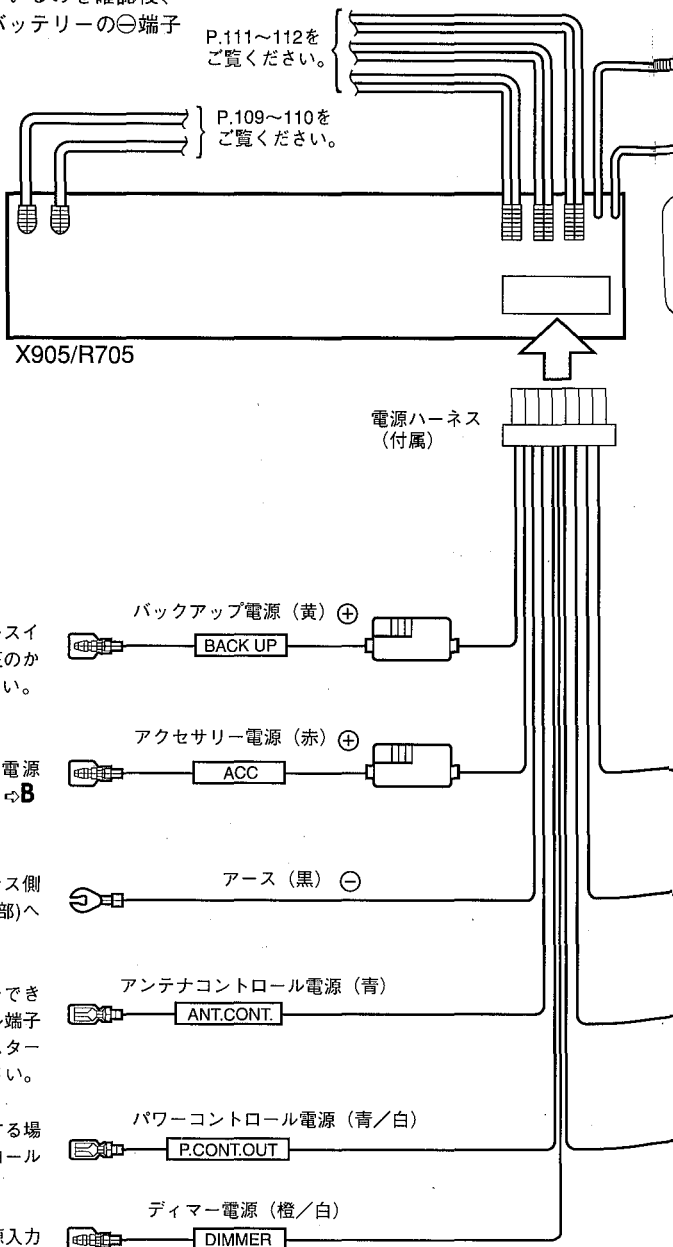
接続のしかた

電源・スピーカーコード・アンテナの接続

使用前に

初めにエンジンキーが抜かれているのを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

- 1 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
- 2 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。(R705のみ)
- 3 電源ハーネスをアースコード(黒)、バックアップ電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)の順に接続します。
- 4 電源ハーネスの16P.コネクターを X905/R705 に接続します。
- 5 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
- 6 X905/R705 のリセットボタンを押します。



メインヒューズを通ったあとでキースイッチのON/OFFに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。

⊕A

キースイッチでON/OFFできる電源 (ACC ライン)へ接続してください。

⊕B

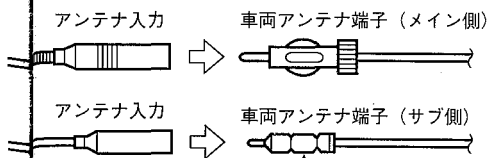
車の金属部分(バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部)へ接続してください。

⊕C

ラジオのON/OFFでアップ/ダウンできるモーターアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子に接続してください。

リアスピーカー用アンプ等を接続する場合、パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。

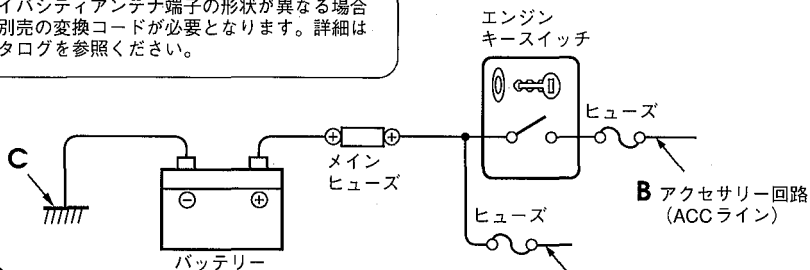
本機にデイマーをかけるための電源入力です。ライトスイッチでON/OFFできる電源へ接続してください。



↓

ダイバシティアンテナを使用するときは天面にある“FM DIVERSITY”スイッチをONに切り換えてください。

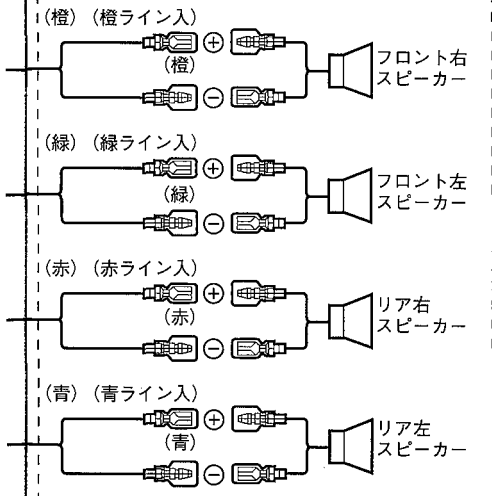
ダイバシティ対応車のみ接続します。ダイバシティアンテナ端子の形状が異なる場合は別売の変換コードが必要となります。詳細はカタログを参照ください。



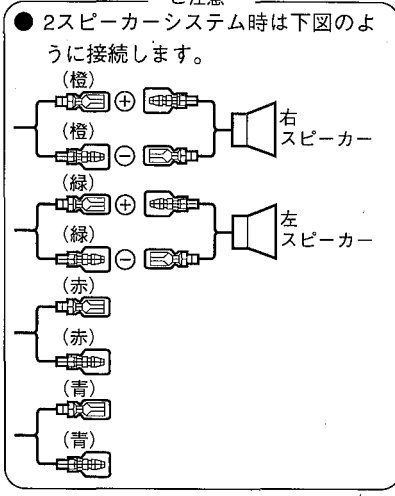
注意

- ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、もとのヒューズボックスと同じ容量のヒューズと交換してください。
- アクセサリ電源(赤)とバックアップ電源(黄)は、必ず指定の場所に接続し、同じところへまとめて接続しないでください。

R705のみ



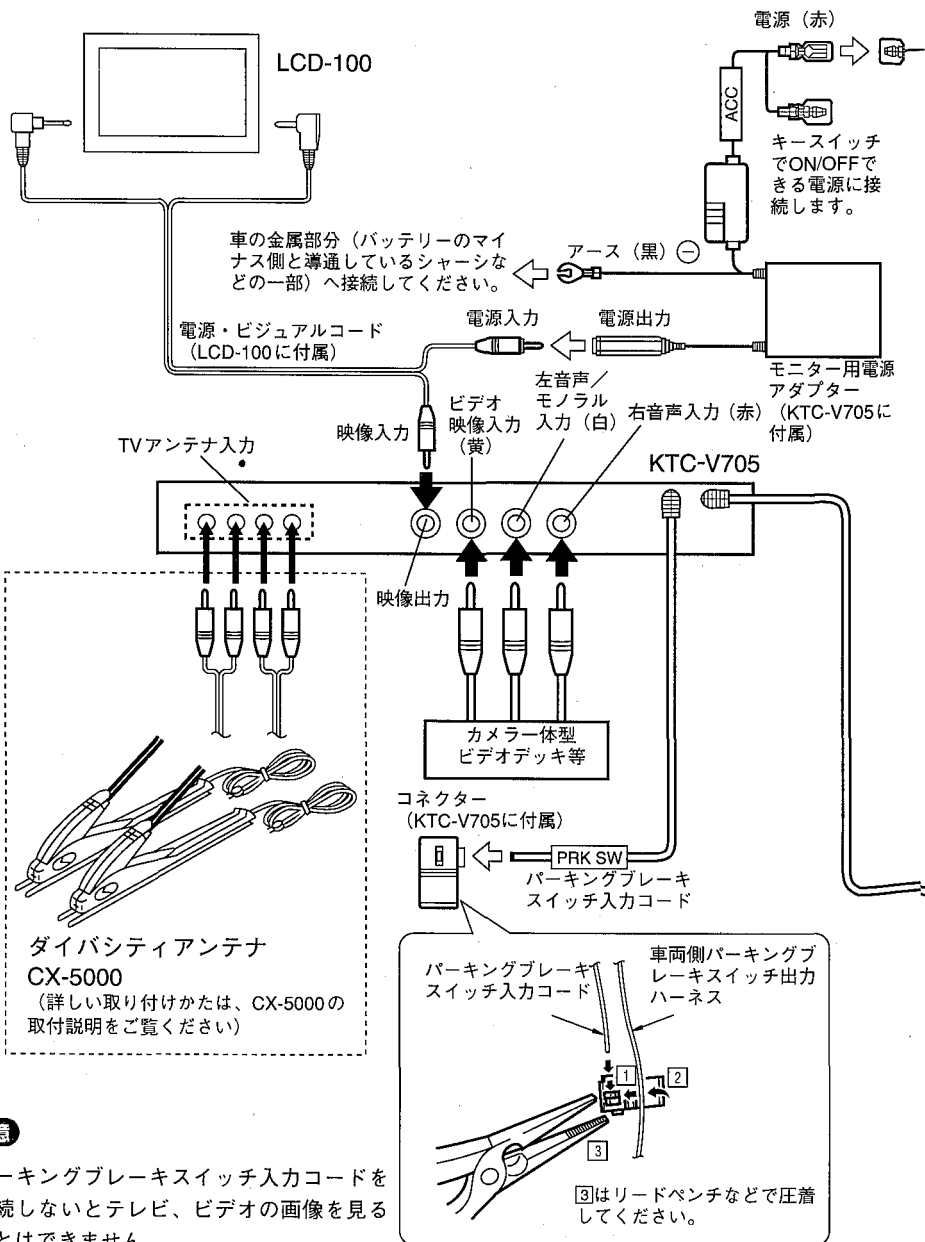
ご注意



接続のしかた

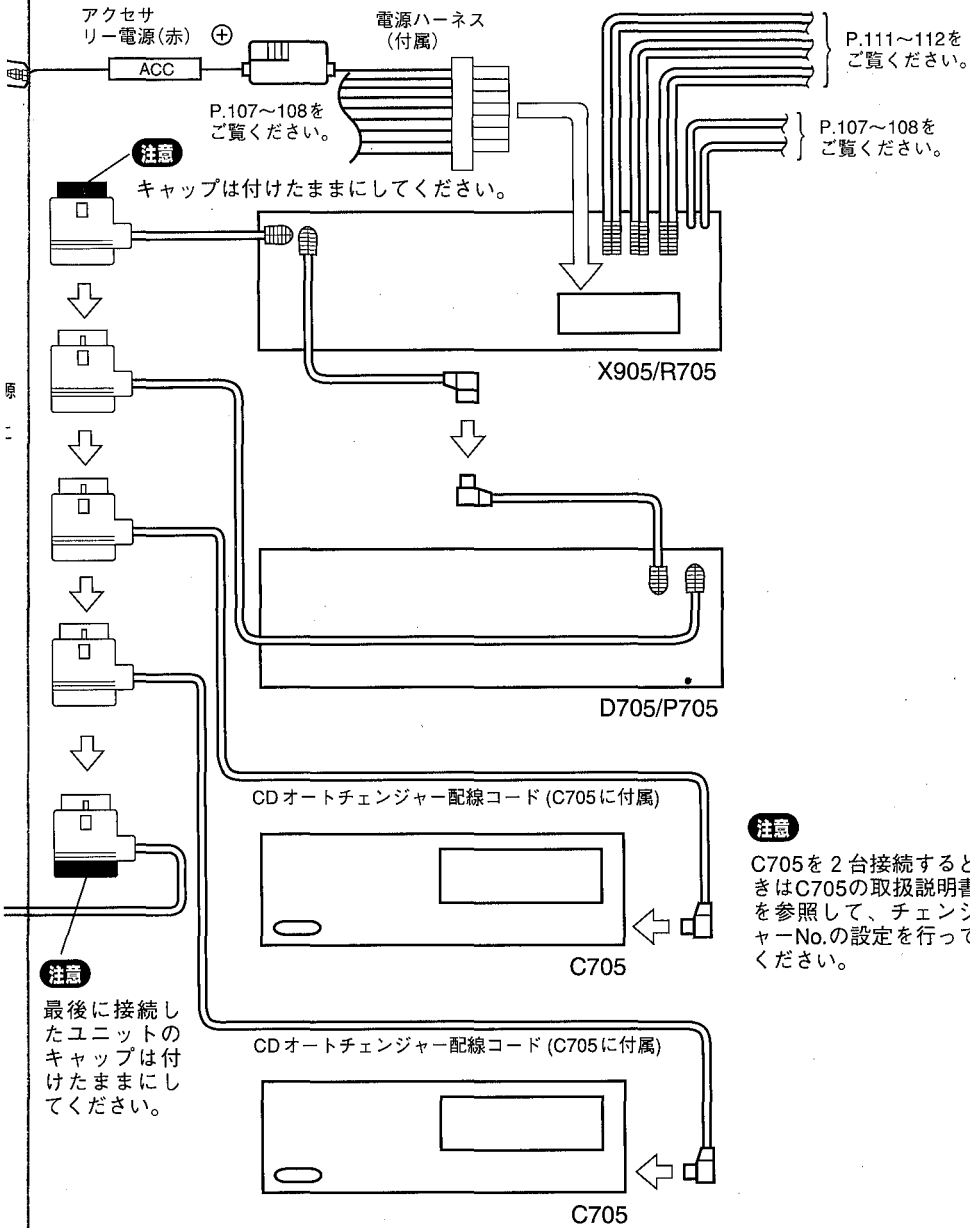
システム接続

ご使用の前に



注意

パーキングブレーキスイッチ入力コードを接続しないとテレビ、ビデオの画像を見ることはできません。



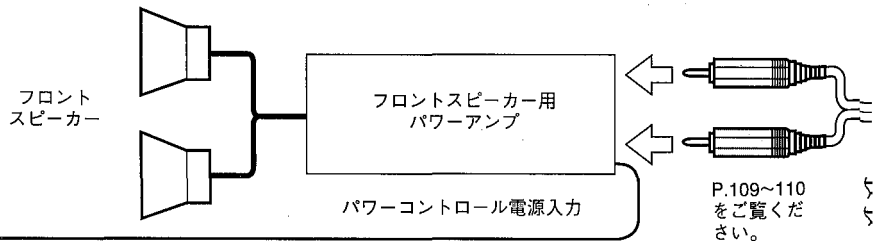
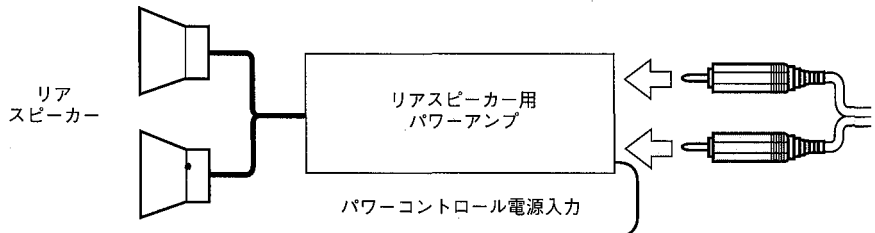
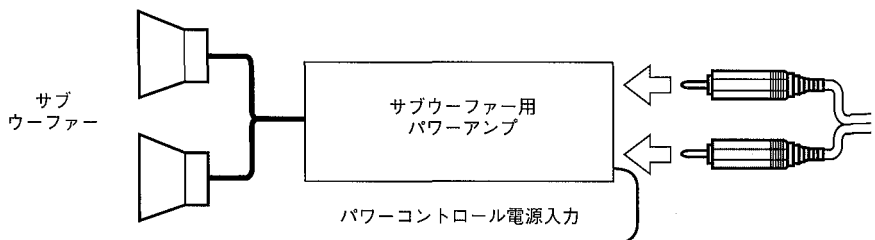
注意

C705を2台接続するときはC705の取扱説明書を参照して、チェンジャーNo.の設定を行ってください。

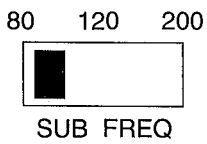
接続のしかた

パワーアンプの接続

ご使用の前に



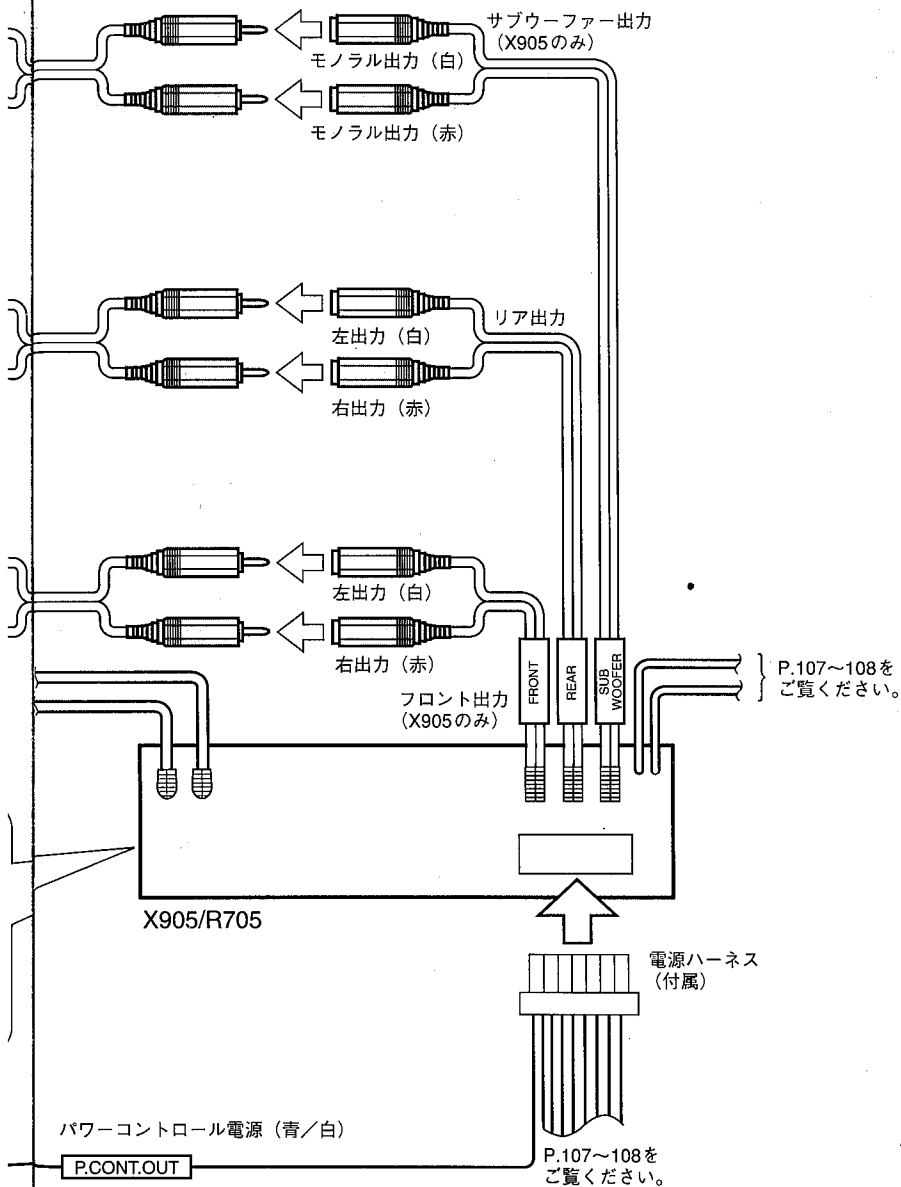
P.109~110
をご覧ください。



サブウーファーを接続するときは、X905の天面にある“SUB FREQ”（サブウーファーカットオフ周波数）スイッチの設定を行ってください。カットオフ周波数は“80 Hz”、“120 Hz”、または“200 Hz”の中から選ぶことができます。

注意 使用するパワーアンプのサブウーファー用出力システムはOFFにします。





故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。
修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき

どうして

こうします

電源が入らない	電源ハーネスのヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認後、所定容量(ケースに表示)のヒューズと交換してください。
音が出ない/小さい	<ul style="list-style-type: none"> 音量が最小になっている。 ヒューズが切れている。 フェダー、バランスが片側に片寄った設定になっている。 入・出力/電源コードが間違っており接続されている。 カセットテープの不良。 2台以上のセンターユニット(X905/R705)が接続されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音量を適度に上げてください。 コード類がショートしていないことを確認後、所定容量(ケースに表示)のヒューズと交換してください。 フェダー、バランスを調整してください。 "接続のしかた(⇨P.107~112)"を見て正しく接続してください。 他のカセットテープを使用してください。 センターユニットを1台にしてください。
音質が悪い(音が歪む)	<ul style="list-style-type: none"> 音量が大きすぎる。 ヘッドが汚れている。 スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいます。 スピーカー配線が共通になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正音量で使用してください。 "ヘッドクリーニングについて(⇨P.104)"を見てヘッドクリーニングを行ってください。 スピーカー配線をチェックしてください。 スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカー端子に接続してください。
テープが入らない	<ul style="list-style-type: none"> カセットハーフが変形している。 テープが逆向きになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のカセットテープを使用してください。 テープが見える面を右にして入れてください。
テープがイジェクトしない	<ul style="list-style-type: none"> カセットハーフが変形している。 カセットのラベルがはがれかかっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のカセットテープを使用してください。 ラベルをはがすか貼り直してください。
チューナーの感度が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 自動車のアンテナが伸びていない。 アンテナコントロール電源が接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナを十分伸ばしてください。 "接続のしかた(⇨P.107)"を見て正しく接続してください。
TAPE MODEが選べない	<ul style="list-style-type: none"> カセットテープが入っていない。 カセットテープがイジェクトできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> カセットテープを本機の中に確実に入れてください。 カセット挿入口の障害物を取り除いてください。

こんなとき	どうして	こうします
TUNER MODEが選べない	オールスタンバイモードからチューナー以外のモードにしたため、チューナー機能がOFFになっている。	TUNスイッチを押してください。
プリセットしたはずのステーション名が表示されない	ネームプリセットがFM、AM合わせて30局を超えたため消された。	表示させたい放送局を再度プリセットしてください。
エンジンキーをOFFにすると、メモリー内容が消えてしまう	バックアップ電源が所定の場所に接続されていない。	“接続のしかた” (P.107) を見て正しく接続してください。

●CD オートチェンジャーC705(別売)を接続しているとき

こんなとき	どうして	こうします
CDオートチェンジャーモードにならない	本機からのチェンジャー入力接続されていない。	本機のチェンジャー入力を接続してください。
操作スイッチを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	X905/R705のリセットボタンを押してください。
CDの演奏が始まらない	電源がONになっていない。	電源をONにした後、SOURCEスイッチを押してCDオートチェンジャーモードにしてください。
指定したディスクが演奏されず、ほかのディスクの演奏をする	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが異常に汚れている。 ディスクが裏返しになっている ディスクが2枚同じ場所に入っている。 ディスクの入れた場所と指定No.が違う。 ディスクに大きな傷がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクのクリーニングをしてください。 マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 マガジンをイジェクトして指定ディスクのNo.を確認してください。 他のディスクを使用してください。
チェンジャー表示はするが音がでない	<ul style="list-style-type: none"> 音量が最小になっている。 マイコンが正常に動作していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 音量を適度に上げてください。 本機のリセットボタンを押してください。
選曲動作をしても目的の曲にならない	ランダム/メモリプレイモードになっている。	ランダム/メモリプレイモードを解除してください。

故障かな?と思ったら

●CDオートチェンジャーC705 (別売) を接続しているとき

こんなとき

どうして

こうします

CDチェンジャーモードを2台接続したがCD auto changer 2 MODEにならない

CDオートチェンジャーのチェンジャーNo.スイッチが同じ番号になっている。

CDオートチェンジャーのチェンジャーNo.スイッチを、1台を“1”、もう1台を“2”に設定してください。

CDの音が重なって出る表示がちらつく

メモリープレイのときに、メモリーしたはずの曲がCD演奏されない

- メモリーしたCDがCDマガジン内に無い。
- メモリーセットが100曲を超えたため消された。

- CDマガジンに聴きたいCDを入れてください。
- 聴きたい曲を再度メモリーしてください。

●DSPユニットD705/P705(別売)を接続しているとき

こんなとき

どうして

こうします

DSP効果が得られない

- 2スピーカーシステムになっている。
- スピーカーの接続が間違っている。

- フロント・リアの4スピーカーシステムにしてください。
- “接続のしかた” (P.107) を見て正しく接続してください。

イコライザーエフェクト機能効果が得られない

デジタルイコライザーが“フラット”になっている。

デジタルイコライザーの設定を“フラット”以外にしてください。

●CDプレーヤーD705(別売)を接続しているとき

こんなとき

どうして

こうします

CDモードにならない

本機からのCD入力接続されていない。

本機のCD入力を接続します。

操作スイッチを押しても動作しない

マイコンが誤動作している。

X905/R705のリセットボタンを押してください。

ディスクプレイが始まらない

CDモードになっていない。

SOURCEスイッチを押してCDモードにしてください。

CD表示はするが音が出ない

- 音量が最小になっている。
- マイコンが正常に動作していない。
- システムの電源、入・出力コード、スピーカーなどの接続が不完全になっている。

- 音量を適度に上げてください。
- X905/R705のリセットボタンを押してください。
- 取扱説明書に従って配線をチェックしてください。

選曲動作をしても目的の曲にならない

ランダムプレイモードになっている。

ランダムプレイモードを解除してください。

●テレビチューナーKTC-V705(別売)を接続しているとき

こんなとき	どうして	こうします
ビジュアルユニットモードにならない	本機からのビジュアル入力が接続されていない。	本機のビジュアル入力を接続してください。
画像が出ない	パーキングブレーキスイッチ入力コードが接続されていない。	パーキングブレーキスイッチ入力コードを接続してください。

●システム接続に異常があるときは以下の表示でお知らせすることがあります。

BUS-E01: センターユニット (X905/R705) が 2 台以上接続されています。

BUS-E04: DSPユニット (D705/P705) が 2 台以上接続されています。

BUS-W01: CD プレーヤーユニット (D705) が 2 台以上接続されています。

BUS-W02: チェンジャーNo. スイッチが “1” に設定された CD オートチェンジャー (C705) が 2 台以上接続されています。

または、チェンジャーNo. スイッチが “2” に設定された CD オートチェンジャー (C705) が 2 台以上接続されています。

⇒ CD オートチェンジャーは 2 台まで接続できますので、1 台のチェンジャーNo. スイッチを “1” に設定し、もう 1 台を “2” に設定すれば正常に使用できます。

BUS-W05: テレビチューナーユニット (KTC-V705) が 2 台以上接続されています。

故障かな?と思ったら

●以下の表示でシステム状態をお知らせします。

EJECT : ディスクマガジンがセットされていない。
ディスクマガジンが完全に入っていない。
など

NO DISC : ディスクマガジンにCDが1枚も入っていない。

ERROR 04 : CDが異常に汚れている。
CDが裏返しになっている。
CDに傷が多く付いている。

ERROR 99 : 何らかの原因で正常に動作していない。
⇒ 本機のリセットボタンを押してください。"ERROR 99"表示が消えない場合、
お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

HDL II : 温度が60°異常になると保護回路が動き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
⇒ CDオートチェンジャー取り付けの場所の温度を下げ、リセットボタンを押してから使用してください。

NO DATA : メモリープレイセットされている曲がディスクマガジンに入っていないときに、メモリープレイを行おうとした。

NO NAME : ステーションネームセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。

NO FILE : ディスクネームプリセットされていないCDを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。

保証書 この商品の保証書は別途添付しております。必ず所定事項の記入及び記入内容をご確認いただき大切に保存してください。

保証期間 お買上げの日より**1年間**です。正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、保証書の記載内容によりお買上げの販売店またはケンウッド各営業所が**無料修理**いたします。

保証期間経過後の修理 お買上げの販売店またはケンウッド各営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合にはお客様のご要望により**有料修理**いたします。

本機の当社規定**補修用性能部品の最低保有期間**は製造打切後**6年間**です。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

CDオートチェンジャー・CDプレーヤー・DSPユニット・ビジュアルユニットをお買上げのお客様へ

修理のためお買上げの販売店またはケンウッド各営業所に本機をお持ちになるときは、本機およびCDオートチェンジャー・CDプレーヤー・DSPユニット・ビジュアルユニットを一緒にお持ちください。

なおアフターサービスについて、ご不明な点はお買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、各営業所にご遠慮なくご相談ください。

定格

FMチューナー部

受信周波数範囲	76.0MHz～90.0MHz
チャンネルスペース	100kHz
IHF感度	12.0dB(1.4V/75Ω)
S/N比(50dB感度)	15.2dB(1.6μV/75Ω)
周波数特性(±1dB)	30Hz～15kHz
S/N比(IHF-T200)	75dB
選流度	100dB
キャプチャーレシオ	1.5dB
ステレオセパレーション(1kHz)	40dB

AMチューナー部

受信周波数範囲	522kHz～1629kHz
チャンネルスペース	9kHz
感度	27dBμ
ステレオセパレーション(400Hz)	30dB

カセットデッキ部

テープスピード	4.76cm/sec.
ワウ&フラッター(WRMS)(R705)	0.08%
(X905)	0.06%
早送り・巻戻し時間(C-60)	100秒
周波数特性(±3dB、ノーマルテープ使用時)	30Hz～20kHz
周波数特性(±3dB、メタルテープ使用時)	25Hz～22kHz
ステレオセパレーション(1kHz)	45dB
S/N比(IHF-A)(DOLBY C NR ON)	77dB
(DOLBY B NR ON)	71dB
(DOLBY BIC NR OFF)	62dB

オーディオ部

最大出力	30W×4 (R705のみ)
定格出力(1kHz、10%THD、4Ω)	20W×4 (R705のみ)
(20Hz～20kHz、1%THD、4Ω)	15W×4 (R705のみ)
高調波歪率	0.05%
トーンコントロール	±10dB
ミッドバス(200Hz)	±10dB (X905のみ)
トレブル(10kHz)	±10dB
ラウドネスコントロール(100Hz)	±8dB
(10kHz)	±6dB
プリアウトレベル	800mV
プリアウトインピーダンス(RCAプリアウト)	10kΩ

電源部

電源電圧	14.4V(11～16V)
最大消費電流(R705)	7.5A
(X905)	0.5A

寸法・重量

外形寸法(W×H×D)(R705)	180×50×170mm
(X905)	180×80×155mm
埋込寸法(W×H×D)(R705)	178×50×155mm
(X905)	178×50×140mm
重量(R705)	1.9kg
(X905)	1.8kg

※これらの定格およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

●商品に関するお問い合わせは、

お客様相談室をご利用ください。

電話 (03) 3477-5335

●アフターサービスのお問い合わせは、

お買い上げの販売店、または、最寄りのケンウッド・サービスステーション、

営業所にご相談ください。(別紙“全国サービス網”をご参照ください。)

KENWOOD

株式会社ケンウッド

東京都渋谷区道玄坂1-4-6 千150

お客様相談室 電話 (03) 3477-5335